

鈴録

番外書冊

				和書門
			二〇五八	
			一〇四八三	
			冊架函號類	

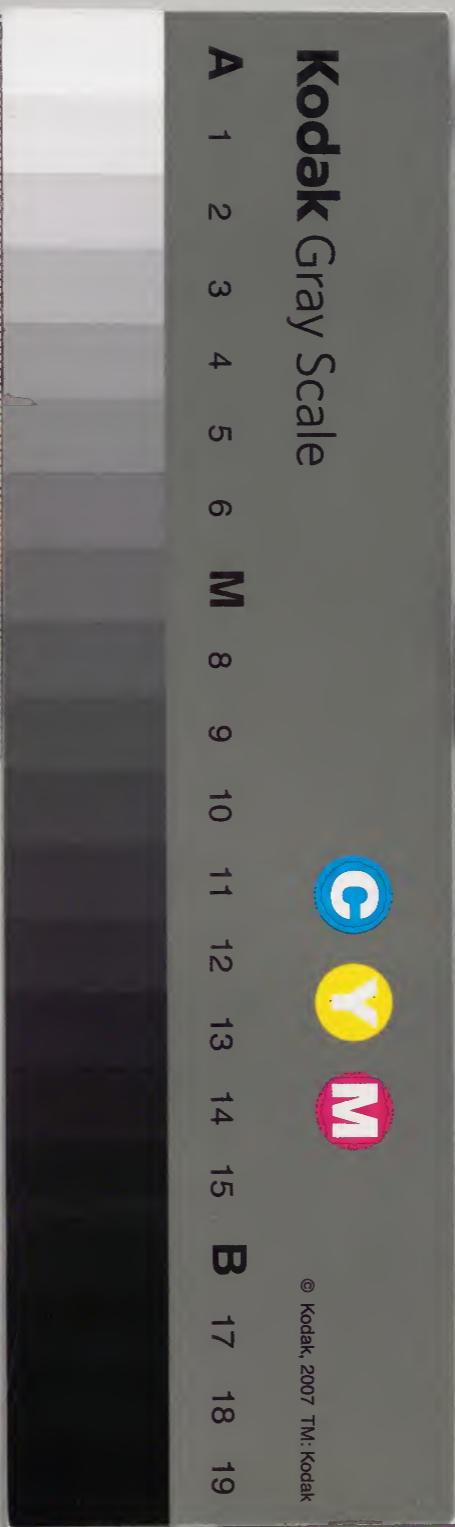
庫	文	閣	内	
八	〇	五	八	和書
八	〇	五	八	
一	〇	五	八	
三	〇	五	八	
架	冊	號	類	

(八冊)

内閣文庫	番號	和	20583
	冊數	10	(8)
	函號	189	346

武備兵法

中五十六



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

鈴録第十五

癸卯九月十一日

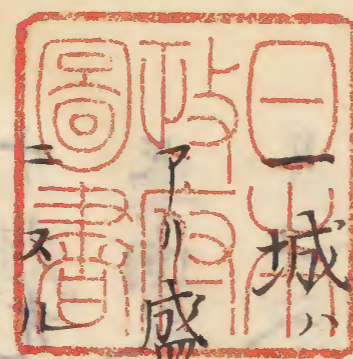
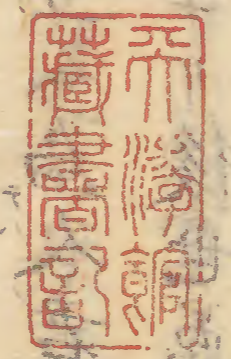
八月十六日附

小野右藏氏寫成

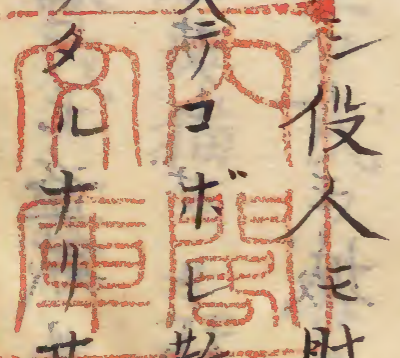
録第廿五

鈴録第廿五

城制上 草文庫



一城ハ國郡ヲ治ル人ノ居處ナリ城者盛也ト云フ
 盛ハモルトヨム器ニ物ヲモリテコボルニ様
 人ノ多聚ル處ヲ擇ニテ其處ニ居住シ役人モ財寶
 モ其處ニ聚ルユヘソレヲ盛リ受テコボラ散ラ
 サル様ニタモツ心ニテ城ト名付ケタルナリ
 ハ其國郡ノ内ニテ樞要ノ地ニテ其主コノ處ニ居



住ニ財寶モ聚マル所ナルコトハ是ヲ大切ニ守護ス
ヘシ乱世ニハ敵是ヲ棄テトシ平世ニモ盜賊是ヲ
窺フコトナルコトハ要害ヲ構フ輒ク犯サレガル様ニ
スルコトナリ故ニ易ニ王公設論ト云ヘルモ城ヲ
ナリ尤天地自然ニアリ來ル山川ノ要害ヲモ用シ
凡尚又人ノ智慧ヲ以テ普請ラメ要害ヲ構ルコト
ルコトハ設トハ云タルナリ然レ人君ハ國民ヲ撫養
ヒ安穩ナラシムルコト其職分ナルコトハ為人君止於
仁ト云テ仁ヲ人君ノ道トスルコトナリ後世愚ナル

學者ノ了簡ニハ仁心至極ノ君ナラハ財寶ヲ貯ル
ト云フモナク財ヲハ悉民ニ與ヘテ是ヲ守ル所ハ
アルニシ又君ノ仁心ニ懷キテ國民歸服スル上ハ
要害ヲ設ケ用心スルコトモアルマジキコトナリサレ
ハ城ヲ構ルコトハ霸者ノ道ナリ杯云ヘルコト以外
人僻事ナリ天地ノ間ニハ惡人出生メ民ノ害トナ
ルコト天地ヨリ虎狼毒蛇ヲ生シ砒石斑猫ヲ生スル
如ナルコトコトハ兵刑ヲ以テ惡人ヲ誅戮メ民ノ害ヲ
除キ萬民安穩ナラシムルコト聖人ノ仁道ナリ殊ニ

萬民ニハ智者ハ少ク愚者ハ多ク愚者ハ既ニ愚ナ
レハ道理ヲ説教ヘテ愚ラセザル様ニスルコト聖
人トテモナラヌコトナルコト孔子モ民ヲハ不可使
知_ト宣ヘリ既ニ愚ナルカコトニ愚ラスルコトモハ愚
人ナレハトテ悉殺ヘキニ非ス只愚人ノ惡ヲスル
コトナラザル様ニ是ヲ制シ惡ヲナサシメザルコト仁
ノ一術ナルコトヘ城郭ヲ設ケ武備ヲ盛ニシメ用心ヲ
スルコト是人君ノ道ナリ故ニ顓頊城帝學城堯城舜
城禹王ノ夏城湯王ノ亳城文王ノ豊城武王ノ鎬城

成王ノ洛城其舊迹今ニ残レリ仰テ天文哉觀公ハ
一北辰ノ帝座ヲ心諸ノ星幾重ニモ守護_ル其外ニ紫
微垣ト云カコヒノアルハ城郭ノ形ナリ俯_テ地理
ヲ察スレハ中國ノ地ニハ幾重モ山川取巻テ其一
ニ中ノ処萬民繁昌ノ地ニテ聖人コトニ出生シ都
ヲ建テ居住シ玉ヘハ重々_ク山川ニ重々_ク要害ナ
リ近ク人ノ身ニ考レハ心ハ即君ナリ心臓ハ餘_ク
臟腑トハ替リ心胞絡ト云藏アリ心臓以外ヲ重
クニ包_フ上ニ華蓋アリ下ニ膈膜アリ其又外ニハ

胸背ノ骨アリテ幾重ニモ守護ヲナス是ニ象リテ
人君ノ居処ハ城ノ外ニ郭アリ其外ニ國門アリ又
其外ニ処々ニ下邑ノ城アリ其外ニハ四境ノ關門
アリテ重々ニ要害ヲ構ルテ五帝三王ノ道皆力ク
ノ如シサレハ和流ノ軍法城取ニモ本丸ニ左丸三
ノ丸外曲輪然曲輪トトリ城堅固所堅固國堅固是
ヲ三段ノ堅固ト云モ皆コノ意ニ本ツクト知ヘシ
一和流ニ平城山城平山城アリ又陣城付城向城取出
屋敷構杯云名目アリ北條流ニ平城ハ普請ニ念ラ

入ザレハ不叶ナルユヘ忙シキ寸築ガ多シ山城
ハ險阻ヲ用ルユヘ土居堀ヲ不用屏ガ成リ京京濟
処多キユヘ忙シキ寸築ニ宜シト云ヘリ左臣アル
ヘシ又大身ノ城ハ平城ナルヘシ小身ノ城又ハ堺
目ノ城杯山城ヲ用ユト云山城ニ非ス片海ヲ抱ク
湖ヲナドヲ抱テハ平城ニテモ小身ノ要害ニモ
宜カルヘシ陣城ト云ハ謙信流本坂山陣ヲ取テ
云北條流ニハ然テ陣取ハ土居堀ヲ成ルヲ云付城
ト云ハ城攻合戦ヲ仕掛テ國ハ返ルコトノア也時人

敷ヲ残置為ニ築テ後詰ヲスル間落サレ又迄ハス
ルニハ眞草行人時行ノ城取ナリ向城ト云モ同
ナリ取出ト云ハ合戦ノ場ヨリ本城迄間遠ナリ中途
ニ人敷ヲ出シ置ヘキ為又ハ道筋ヲ取切ヘキ為ニ
築ナリ是又行ノ城取ナリト屋敷構ト云ハ國堅
固ノ地杯ハ居城ヲ不築屋敷構ニスルナリ是又
屋敷ナレハ城ノ心持ニスルナリ此外異國ニハ
堡ト云フナリ城ノ小キモノ大形ハ和流ノ取出杯
ノ類ナリ異國北方ノ邊土ニハ韃韃ヨリ度々攻入
民間ノ子女牛羊米穀芻草ヲ乱妨スルコトハ取藏サ
シニ為ニ鄉村処々ニ堡ヲ築キ民ニ下知メ是ヲ守テ
シメ其内へ彼子女牛羊米穀芻草ノ籠置タカクノ
如クスルヲ清野ノ術ト云野外鄉村ノ間ニアル物
ヲキレイニ仕舞置テ敵ニ取ラセヌ様ニスルト云
ナリ

舊來在後式部左
前在後式部左
前在後式部左
前在後式部左
前在後式部左
前在後式部左
前在後式部左
前在後式部左
前在後式部左
前在後式部左

教の發達を爲すに後諸の区凡同書...
凡そ八景... 城東... 城西...
十一... 十二... 十三... 十四... 十五...
十六... 十七... 十八... 十九... 二十...
二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五...
二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十...
三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五...
三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十...
四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五...
四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十...

選地

一 選地ハ城地ノ選様ナリ此條流ニ繁昌ノ勝地防
戰堅固守城堅固ト云アリ繁昌ノ勝地トハ北高ノ
南低ク南北長ク東西短ク東西南ニ川ニ反テ海ニ
テモアルヲ云ト云ヘリ訓胤集謙信流ニハ四神相
應ノ地ヲ繁昌ノ勝地トス四神トハ左青龍右白虎
前朱雀後玄武ナリ左ニ流水アリ右ニ大道アリ前
ニ湊池アリ後ニ山林アルヲ四神相應ノ地トス異
國宅地ノ占ニ出タルヲ十ノ謙信流ニハ右ニ原野

前ニ田畠ト云ヘリ何レモ南ヲ前トシ北ヲ後トシ
左ヲ東右ヲ西ニシテ云タル由リ此四神ノリハ元
来天ノ二十八宿ヨリ出タルヲナリ東方ノ七宿角
亢氏房心尾箕ノ全体ノ形龍ノ如シ青トシ東方木
ノ色ナリ北方ノ七宿斗牛女虚危室壁ノ全体ノ形
龜ノ如シ龜ハ甲ノアルモノナルニハ武具ナレハ
是ヲ武ト云玄ハ北方水ノ色ナリ西方ノ七宿奎婁
胃昂畢觜參ノ全体ノ形ハ虎ニ似タリ白ハ西方金
ノ色ナリ南方ノ七宿井鬼柳星張翼軫ノ全體ノ形

鳥ニ似タリ朱ハ南方火ノ色ナリ人君ノ道ヲ天道
ヲ奉テ國ヲ治ムルコトナルニハ天子ノ命ヲ前朱雀
後玄武左青龍右白虎ノ旗ヲ行幸ノ時ハ立給フ日
本ニテ大嘗會ノ時モ是ヲ建玉ワサルハ龍ハ水ニ
スミ龜ハ山ニス虎ハ野ニス朱雀ハ田畠ニシテ
モノナルニハ右ノ如キ地ヲ四神相應ト云タルヲ
ナリ是全ク表相ハカリノリニハ非ズ如此ナル地
ハ西北高ク東南低キ故冬暖ニ夏涼ク人氣聚リ
盛ナル上山林原野田畠流水ヲカハヘタルニハ物

ノ自由モ足ルニヨリテ繁昌ノ勝地ト定メテ大都
會ノ城地ハ是ヲ用ヘシトナリ合戦ノ時ニモ右ノ
如キ地ハ後ト右ト高ク左ト前ト低ク大手ノ方低
ク搦手ノ方高キ故頃地ナリ謙信流ニハ右ノ地ナ
キナハ地形ヲ補ヘシト云ヘリ山林ナキナハ森林
ヲタテ流水ナケレハ川違ヲ仕カケ或ハ田畠ヲ開
キ或ハ切拂ヲ野原ニスルコトナリ又訓胤集ニ五性
ノ地ト云フアリ北高南低キヲ黒帝クイ黒龍王ノ地ト
号シ水性ナリ南大手ニスヘシ南高北低ヲ赤帝シヤクイ赤
龍王ノ地トシ火性ナリ北大手ニスヘシ西高東低
ハ白帝白龍王トシ金性ナリ東大手ニスヘシ東高
西低ハ青帝青龍王トシ木性ナリ西大手ナルヘシ
中高四方低ハ黃帝黃龍王両大手ナルヘシ土性ナ
リ是ヲ城主ノ生シ性相應ニスヘシト云埒モナキ
コトナリサレバ是モ低方ヲ大手ニスルコトヲ云タル
ナルヘシ北條流ニ北高南低キヲヨシトス正五四
神相應ト道理同クナリ南北長ク東西短ト云旨低
方ニ町割ヲスルコトハ自然ト南北長クナルナリ東

西南二川アリト云モ自由ノヨキヲ用ル心ナル
シ南瞻浮洲須弥山ヲ表スル十ト云合ルハ文盲三
テ本説ヲ取失ヒ義理ノ付様アシキナリ又五徳相
應ノ地ト云ヨアリ謙信流レハ地形ヨキト水ノ手
ヨキト竹末ノ手筋ヨキト五穀ヲ豊ニ生スル地ト
塩ノ出ル地ヲ云ト云ヘリ山鹿ニハ第一ニ水第二
ニ山嶮ク四方ノ谷深ク峰以バカズ第三ニ麓ハ十
ダラカニメ上ノ岸險ク第四ニ城ノ峯岩石ニテ登
ルト不叶第五ニ傍ノ山深ク地畧ナクテ敵左右ナ
ク寄カタシト云楠正成子劔破ノ城ヨリ起タル説
ナレハサモアルヘキ歟然レハ山鹿説ハ五以ニ数
ユルホドノトニ非ズ定テ古説ハ陰陽鬼神ニ表相
ニテ云タルナルヘキヲ傳ヲ失テ理窟ニテ云タル
ナルヘシ又三草四木ノ生スル地ヲ上國トシメ大將
ノ居城ヲ取ヘシト云三草トハ灯心草麻木綿四木
トハ桑楮朴漆ナリ他國ヲ頼メズ自國ニテ平生ノ
用事足ルヘキ地ヲヨシトスルナリ又異國ニハ山
水環拱スルヲ靈地トス是ハ城ノ近邊ヲ云ニ非ズ

遠ク見渡シタル景致ヲ云ヘリ山ノ形モ其所ヲ取
テキテ内ノ方ヘ向ヒ川ノ流レモツドヒ聚ル
云如此地ハ地氣盛ニメ萬物生長シ人氣モ盛ニメ
民繁昌シ寸智アル人モカヤウノ地ニハ生ズル
ナルユヘ靈地トスルナリソレニ付キ圭山案山輔
山ト云フアリ多ク山ノ内ニ北ニ當リテ一番ニ高
ク見事ナル山アルヲ圭山ト定メテ圭山ノ南ニ當
リテハナシ山アリテ上平ニツクユノ形ノ如ナリ
ヲ案山トシ左右ニツバキテ圭山ヲ輔クル形アル
山ヲ輔山ト云ヒ重々環拱トテ遠近幾重ニ非ズ
ワシタルヲヨシトスルナリ防戦堅固守城堅固
ト云ハ外ヘ人数ヲ出シ敵ヲフセキ戦フニ宜キ
地形ヲ防戦堅固ノ地トシ虎口ニ馬出ラシ横
ルワヒツミクルワヲ用テ横矢ノ拂ヲ專ニ敵寄
来ル寸後詰ナク兵共ヲ出メ敵ヲ拂フニ首尾ヨク
調テ自由ヨク取タル城ヲ防戦堅固ノ城ト云是ハ
ホ勢ニテハモタレヌ城ナリ大將ノ居城ニ用ルナ
リ又攻入ニ使ナク出ルニモ不自由ナル地ヲ守城

堅固ノ地ト云小口ヲ取ニモ曲折ノ陰ノ小口ヲ用
ルヲ守城堅固ノ城ト云是ハ境目ノ城又ハ小身者
ノ他國へ働ク士地下人ノ人質杯ヲ入置留守居
ノ城杯ニ用ユ專ラ後誥ヲ頼城ナリ但シ籠城叶力
夕キ時節城ヨリ出テ一戦ヲ遂ルニ使宜ヨキ要
害ヲ城ノ近邊ニ構ルヲ習ナリト云ヘリ愚按此ニ
右ノ様ナルヲモ大概ノ心得ナリ肥後熊本ノ城ハ
加藤清正繩張ナリ内ノ敷殊ノ外ニ多キユハ細川
三齋ニ至テ内ヲ塞テ少クシタリ是同ク防戦堅固

ノ心ナレ且西人ノ了簡各別ナリト知ヘシ北條流
ニ陽ノ山陰ノ山ト云クアリ男山女山ト云クコ
ハシタルモノナリ男山ト云ハ獨立タル山也云山
城ヲ取ルニ是ヲ用ユ女山ト云ハ山ノ續津也此ヲ
云山ノ尾ツタヘニ敵襲来テユハ是ヲ嫌クナリ女
山ニ城ヲ取テ山ノ尾ヲ掘切テ男山ニ移ヘ云亦
云ヘリ近處ニ北方ヲ見ヌロス山ノ下ニ松男山女
山共ニ嫌フナリ異國ノ書ニモ旁無俯臨ヲヨ言フ
スルナリ城中ヲ見スカサレ且ハ近年ハ大筒ト云

モノアルユへ近處ニ俯臨ノ山アル寸ハ大筒ヲ打
込ルニナリサレ尺西洋ノ攻銃ト云大筒ハ十貫目
ノ玉ヲ用テ平地ヨリ屏土手ヲ越テ打込術アレハ
大筒ノ防キハ畢竟ハナラヌコナリト知ヘシ山鹿
流山城ノ地選様數百文モ聳タル高山ノ頂ハ麓見
切カタク麓ヨリ登ル敵モ見エ兼子萬事不自由ニ
テ水不自由ナルユへ用ベカラズ外ヨリ用水ヲ取
ル処ヲ嫌ヘシ急ナル山ニノ速ニ攻上リカタクキ
用ヘシ山ノ尾少キヲ用エ尾細ク先ツ^{サキ}下リタルヲ
用ユ山ノ下ヨリ付タル尾ハ若シカラズ山ノ下ツ
大ハ崩タル処多キハ敵登リ難シ手明ノ方付テ人
馬ノ往来絶タル處一方モ一方モアルヲ用ヘシ山
ノ麓ニ根小屋ヲケレハ萬事不自由ナリ山ニ竹木
茂タルハ木キレズ薪逆茂木ニ用ヒ敵ヲ防ク使ニ
モナリナリ山ノ下ヨリ付テ急ナルヲ吉トス味方ハ
人數出^シヨキ様ニ取ヘシ山ノアサタニ地形ヲカ
ルヘタル処ナケレハ山城ハ地狭キモノナルユへ
萬不便利ナリ山ノ後與國ヘツヅキタルニ利多ナ

ト云ヘリ又平城ノ地ノ選様陽地陰地ノ差別アリ
陽地ト云ハ所打削テ狭カラズ不タリニサセル障
モナク地高ク水ツカズ草木タクサンニ村里狭カ
ラズ田地豊ニテ敵ヲ拂ニ使ヨキラ云是ヲ用ニ陰
地ト云ハ所クツロカズ狭ク打蔽テ四方ニカサ多
ク湿氣勝ニ水損多ク民モカジケ村里モ狭キハ敵
ヲ防ニ使アルニ似タレ凡城地ニハアシ、トナリ
此外城地ニヨシトスルハ四方見ハラシ五町十町
ノ内ニ高低ノ地ナク抜群ニ高ク敵ヨリ此方ヲ見
切ルヘキ場ナク町屋ヲワルヘキ地アリ用水ヨク
外ヨリ水ヲ不引土ノ性子ハリテヨク竹藪多ク森
シケリアリヌマ深田大河ヘツ、キテ城圍ガタク
堀ノ水乾ガタク足入多テ敵ノカケ引不自由ナル
舟入アル処殊ニ自由宜シ卑湿ノ地ヲ不可用山ノ
下ニ城取ベカラズ堀ニ石多キハ敵フニテ渡ヤス
シ土ノ性アシク崩ヤスキハ土居崩シヤスクメア
シ、トト云ヘリ又異國ク堡制ニ高地ナリ凡地形
ニ段々アリテ土居屏カケガタク下ヨリ城中見エ

スクハアジ、土ノ理疎ニノ密緻ナラヌハ地形堅
固ナラズ寒暑ニ逢テ壤易ニ敵ノ往来ノ路ニアリ
リ近キ処ニ堡ヲ構ルヲアジ、又異國北方ノ地ハ
風吹ケハ沙ヲ吹立ル地多シ左様ノ地ハ掘埋リ土
居ノキワヘ池ヲ吹タノテ土居モ卑クナルト云ヘ
リ日本ニハカヤウノ地卑ガルヲナレト海邊ニハ
アルベキナリ

經始

一經始ハ繩張ナリ謙信流ニ先ツ大中小三段ノ城取
アリ大城ト云ハ公方管領十ド其外十箇國モ手ニ
入レタル大將ノ城ナリ是ハ五重ノ曲輪ニノ本丸
ニ丸三丸然ガ口外ガ口ナリ中城ト云ハ一ハ夕ノ
大將ノ城ナリ四重ノ曲輪ナリ小城ト云ハ廿万石
上下一手ノ大將ノ居城ナリ是ハ三重ノクルワ十
リ其子細ハ公方管領等ノ下ニハ近習近習組外様
組旗本大名旗下トテ五段アルニハ五重ナリ一ハ

又ハ大将ノ下ニハ近習近習廻外様廻大名分四段
ナルユハ四重ナリ一手ノ大将ノ下ニハ近習近習
廻外様廻三段ナルユハ三重ナリソレヨリ小身ノ
城並ニ境目ノ城ナトハ枝城ナリ是ハ其下ニ近習
外様二段ナラテハナキ故ナリト云大中小城凡ニ

◎如此ノ形ナリ枝城ト云ハ◎本二三ノ凡ヲ如
此トルト云ヘリ是謙信流ノ説ナリ武田流ノ城取
ハイカホトノ大城ニテモ皆謙信流ノ枝城ノ形ナ
リ愚按スルニ孔明カ八陣モ四重ノ陣ナレハ重々

ニクルリト取廻ハノ曲輪ヲ取ルト云フ道理然ル
ヘシ然レモ公方管領ノ城取ト云フ謙信ノ定メ
ル法ニモ非ズ頼朝尊氏ニハ城構ナシ只江戸ノ御
城下ノ様子ヲ考合セテ朝倉ナドカ尤ラシク結構
シクル法ナリ諸大名御城下ニ聚居ルヲモ當代ノ
法ナリ五段アルユハ五重四段アルユハ四重ト云モ
牽強ノ説ナリ異國ノ王城モ宮殿内皇城内京城内
ナテ三段ナリ皇城内ノ内ニ百官ノ省寮アリ京城
内ノ内ニ第宅並ニ町ヤアルナリ是ハ諸侯ナキニ

へカクノ如ナルナリ當時至極ノ制度ヲイハ、内
曲輪ニ諸役人ノ役屋敷ヲ置キ外曲輪ニ町屋ヲ割
リ其外ニ諸侯ノ第宅ヲ構へテ團門ヲ設へキナリ
リ是皆外郭ナリ本城ハ強クニ入子ハ十ノ如クセ
ズ凡然ルヘキナリ四重五重ヲ悉入子鉢ノ如セ
ハ本丸ヨリ外へ甚隔リテ却不便利ナルヘシ了簡
アルヘキナリ當時諸大名ノ城皆武田流ノ如ニ
テ本丸コトノ外ニ淺間ナリ是又了簡アルヘキナ
ナリ然レ氏當時リ来ル城悉ク左様ナルナリ了畢

竟人数不足ニテ城ヲ持故ナリ了知へシ畢竟ノ処
城ハ人君ノ住処ナリ小身者ノ屋敷構ナ左迄替リ
ナシ人々ノ物ズキ勝手アリテ一定ノ仕形ハナキ
ナリ同地形同身上ニテモ其人ノ勝手ニヨリテ
屋敷取ハ一定セズ城取モ其通ナリ只要害ノヨキ
様ニスルニ習モアリ功者モアルニ各別ノナリ
ヤウナルヲ城取ト云へ少別ニ一段ムツカシキナ
ト思ヒ武田流ニテハ學者ニ碓形ヲ構サセ月日ヲ
賞スハ大キナル了簡違ナリ屋敷取モ其亭主ノ心

終ニ普請ヲサスレハ色々ノ物スキアレ兵火事ニ
逢テ小屋カケヲ仕或ハ人ノ搦タル家ヲ調テ後家
入ニ住居スレハ只小々処々ヲ仕直ノイカヤウノ
家ニモ居住ナルヲナリ尤来地形ニ様々アリテ城
取ハソレノ地形ニ隨ハザレハナラヌヲナリ何
ホド我好ム仕形アリ又ハイヤナル城ノ取ヤウニ
テモ其地形ニナキヲハセシカクナキナリソノ如
ク公儀ヨリ拜領シタル城ハ我モノズキニ叶ヘキ
様ナシ普請ヲ仕直スヲモ公法アレハ心終ニナラ

ズ是又天地自然ノ地形ノ人ノ心終ニナラヌト同
シヲナリ故ニ城取ノ利害得失ニヨク通ズル寸
ハ若一戦ニ臨マバ只小々処々ヲ仕直ノイカヤウ
ニモ城ハモタルヘキヲナリ然ノ天地ノ間又且其
形アルモノニハ皆々一得一失一長一短アリ其
カヤウノ変ニ遇テモ是ニテ少ノ失モナキト云万
全ノ物ハナキナリ城取モ左ノ如クナルヲナリ其
上人ノ家ヲ調ル寸絵図ニテ見レハコト人外ニア
シキ住居ニテ是ニハ居住ナリガ外小々勝手ノ

仕直スヲモナルニキ様ナレ其住居ヲ見レハ思
ノ外ニナルモノナリ城モ其如ク一度モ二度モ城
ク持チ合戦ヲモ仕テ見ズメ只席上ノ了簡ニテハ
トクトハ知レヌヲナリサレハ破形ヲ仕習フ公埒
モ十キヲナリ故ニ只要害ノ設様ニツキテ和漢諸
流ノ得失ヲ悉諳練シ置テ叔國々ノ城凶ヲ五三枚
モ所持ノ考合セクランニハ城取ハ心ソ僂ニナル
ヘキヲナリ且又和流攻城ノ法ハ異國ノ法ニ比ス
レハ未熟ナルヲ多シ器械モ不足ナリ守城ノ法モ

ツレニ隨テ未熟ナリ城取ハ畢竟守城ノ為ニ設ケ
タルヲナレハ和流ノ城取ニモ行届カヌ処アリト
知ルヘシ

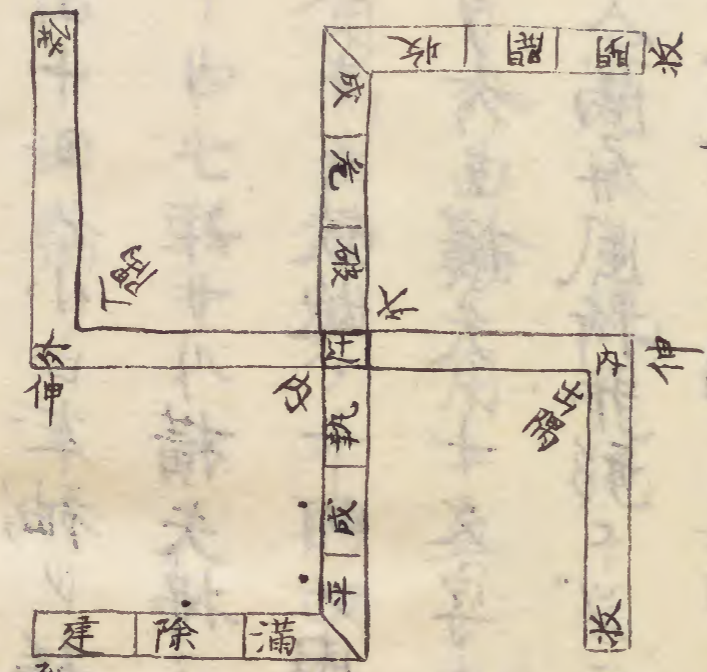
一 謙信流ニハ八重繩ト云フアリ城取ヲスルニ圖ヲ
幾度モスルヲナリ其大将ノ身上ニ隨テ大中小ノ
三段ノ内何レニナリ長定ノ先ツ子ゴヤ廻リニ十
ルヘキ地ヲ見立大格ノ地ヲ積ルナリ大城ナレハ
子ゴヤ廻二里四方中城ナレハ一里四方小城ナレ
ハ半里四方ノ地形ヲ繪圖ニスルナリ是ハ大城ハ

本丸ノ内方三町ニテ外ガワニテ入レテ一里十九
ユヘ子コヤ廻リハ寺社下屋敷ヲ作ル場処ニテ合
テ二里四方ナリ中城ハ本丸ノ内方二町ニテ惣ガ
口合テ十八町四方ソレヨリ又四方ヘ九町ツ、ヲ
子コヤニワリトスルナリ小城ハ本丸一町半惣カ
口合テ八九町バカリニテ子コヤ廻リ半里四方十
リ委細ノ町間ハ下ノ矩墨ノ大墨ニアリ叔右ノ繪
図ヲ土図ニ移シ本丸ノ坪矩ヲ定メ普請奉行ニ申
付ケ又繪圖ニ直シ其繪圖ヲ大砂形ニ直シ叔二ノ

丸ニ城用藏人箕曲輪城代屋敷三ノ丸ヨリ士小路
総河外河ニ商賣町寺社山庄ニテ勘合セ町割屋敷
ノ大槩ヲフニハ算者ニ積ラセ一月モ二月モトク
トサゲスニ議定ノ其上ニテ極圖ヲ分向寸町ニ仕
立テ、吉日良辰ヲ選ニ三日ノ潔齋ヲメ本丸ノ四
方ニ七五三ノ人足立ラノ缺初ラスルナリ七五三
人足立ト云ハ東西南北ニ各七人五人三人ツ、止
ヲ七モカウ五モカウ三モツ、ウツ、置キ其日ハ
ソレバカリニ祝トナリ但シ本丸ノ三台門ヲ先

二作り後ニ城主ノ屋形ヲ營フ故実ナリト云三台ノ
 門ト云ハ下ノ内關ノ篇ニ見ユ分間寸町ト云其
 間ヲ一分一町ヲ六寸ニ繪図ヲスルヲナリ右ノ七
 五三ノフハ畢竟祝由ノ術ナレバ其家風ニ隨ヘシ
 然ノ城普請急ナル寸ハ外ヲ先ニシ緩ナル寸ハ内
 ヲ先ニスルヲナリ
 一同流ニ矩ノ繩矩壘ノ大墨ト云フアリ矩ノ繩ヲ用
 トシ矩墨ノ大墨ヲ体トシ繩張ノ都合スル処ハ五
 箇ノ模図ト云フアリ矩ノ繩又滿字ノ矩ト云其

図左ノ如シ



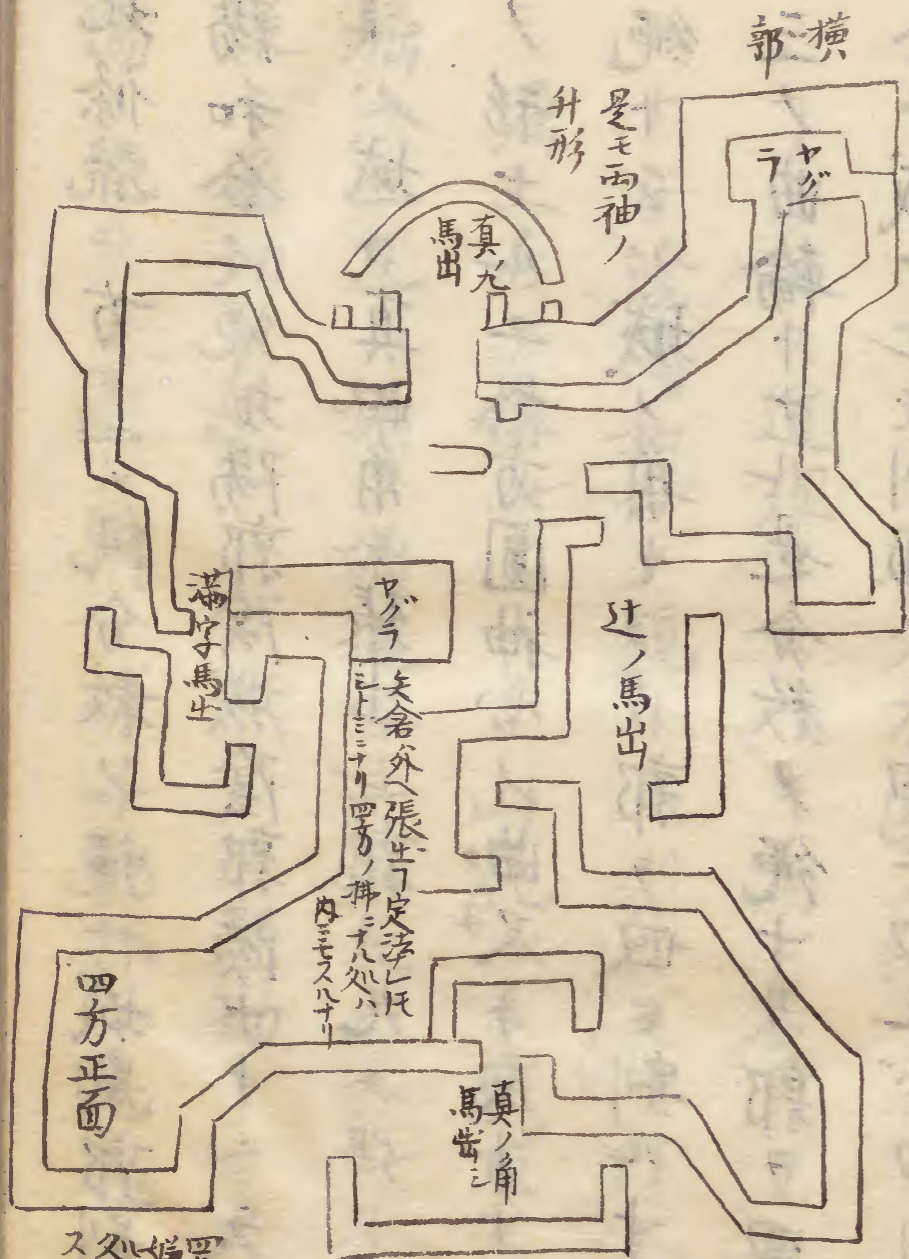
星ノアル処ニ虎口ヲ
 取ナリ本丸大手ノ門
 柱ノ右ノ方ニ杙ヲ打
 ソレヨリ此繩ヲハル
 繩ヒト佩ニシ繩ヲハ
 ハルコノノ皆一ハイナリ一ハイハ四折ナリ一
 佩一折ノノ左ニ出ス虎口ヲ取レハ其処ニテ繩ヲ
 トノ虎口三間置テ又別ノ繩ヲ引ナリ

五箇ノ模圖ト云ハ千キリ繩ヤ一ト繩沈龍繩現龍
繩滿字繩ナリ千キリ繩ト云ハ虎口ノ郭ナリアツチ的山
馬出草ノ丸馬出草ノ角馬出升形向小口郭ノ土若
馬出ナレノ小口左袖ノ様子是ナリヤ一ト繩ハ矢
ガ・リノ矩ナリ横矢拂ノ為ナリ弓ハ三十間ヨリ
内ヘキク鉄炮ハ一町ノ内大筒ハ七八町十町ノ間
是ヲ考テ横矢ノ十文字ニキク様ニスルヲナリ出
隅入隅屏風折升形ヒヅミ隅カケ隅オトシ是ナリ
沈龍繩ト云ハ内クルワニトル繩張ナリ陰ナリ繰
返シノ郭水撚リ西袖ノ小口馬出無ノ小口長橋折
流ニ是ナリ現龍繩ト云ハ動靜ヲ兼タル繩ニテ陽
ナリ外曲輪ニ用ユ真ノ丸馬出横曲輪迂ノ馬出真
ノ角馬出西袖ノ升形四方正面滿字ノ馬出是ナリ
合テ四七二十八ハ天ノ二十八宿ニ象ト云滿字繩
ト云ハ曲輪ツビキナリ然ノ繩ハ頃地形ハ逆ニト
ルクルワハ左ヨリ前ニテハツビキ右ヨリ後ニテ
ハキル様ニスルトナリ別ニ大圖アリ

沈龍繩ノ圖

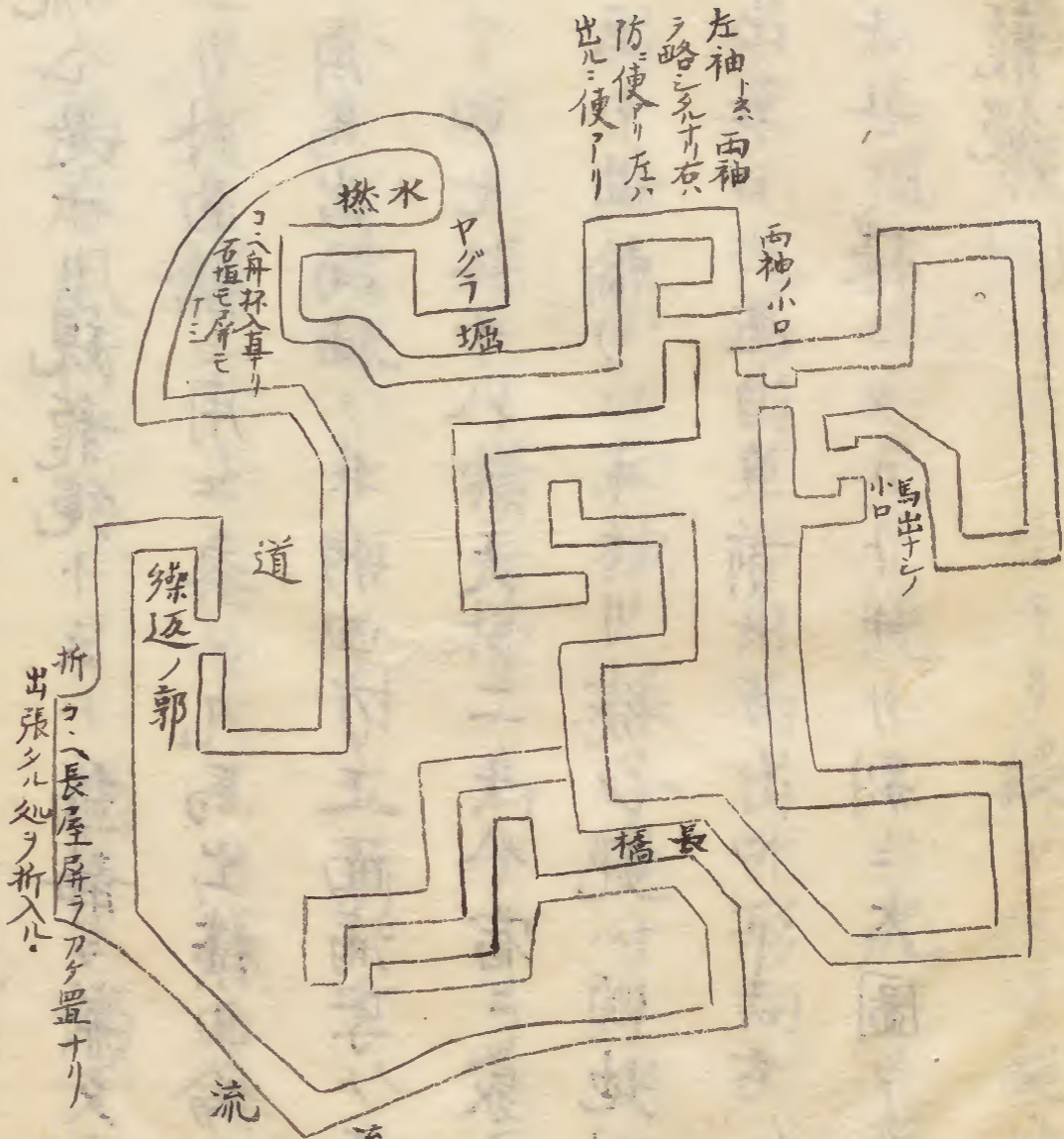
現龍繩ノ圖

矢倉ハ五ハナリ五間八間ヨリノビタル
ラアグラト云々横郭ト云ナリ



是モ兩袖ノ升形ナリ
兩袖ノ先ハ六尺リテ
アグラアリ

四方正面
是モ兩袖ノ升形ナリ
兩袖ノ先ハ六尺リテ
アグラアリ



折カハ長屋屏ヲカテ置ナリ
出張シルル折入ル

流 足場悪キ然ハ地形ニ
随テナカスナリ自然ニ
矢ガリ付ナリ其形屏
風ニテモナク出角ニテモ
入角ニテモナキナリ

一北條流ニ方圓ノ繩分數ノ繩一城別郭別郭一城陰陽和合ノ繩城陽郭陰城陰郭陽十ト、云ヘリ方圓トハ城ヲ真四角ニ張出シ郭ヲ九ク張出ス是自然ノ形ナルユヘ方圓神心ノ曲尺ト云トナリ分數ノ繩ト云ハ城ノ角々ヨリ郭ヲ四ニ割ル寸二ノ曲輪三ノ曲輪トナル是分數ノ繩ナリ郭ヲ四ニ分ルユヘ一城ナレト別郭ナリ四ニワルバカリニテハ外ヨリ見入テ悪キユヘ見エヌ様ニ堀土居ヲ構ヘ自由ナル是別郭ナレト一城ナリ城陽郭陰トハ二三

ノ凡ハ本城ヘ随ヤスキ様ニ取リナリ城陰郭陽ト云ハ本城ハ心ノ如ク静ニテ二三ハ四足ノ如ク働クナリサレハ右ノ方圓ノ繩ト云ヨリ是迄別段ノフニ非ス道理ヲ云ヘキ為ニ名目ヲ色々ニ設ケルナリ陰陽和合ノ繩ト云ハ外ヨリ内ノ見エヌ様ニ堀土居ヲ構ルナリナリ山鹿ニ云城取ニハ本丸ノ堀ヘ二丸ノ堀ヲ堀通シ二三九一ハニニ繞カサル様ニ堀切ヲヨシトス然レト堀切ヲ一文字ニノ陰陽ノ繩ナキ寸ハ内ノ様子郭外ヘ見透ナリ故ニ本

丸ノ土居ヲ横ニ取出シ二丸ノ土居ヲ取入内ヘカ
 ガシ本丸ノ曲輪ノ内ヘ透コトナリナル寸ハ内ノ様
 子外ヘ見エズ是ヲ和合ノ繩ト云ナリ



陰陽和合ノ繩ノ図
 如此

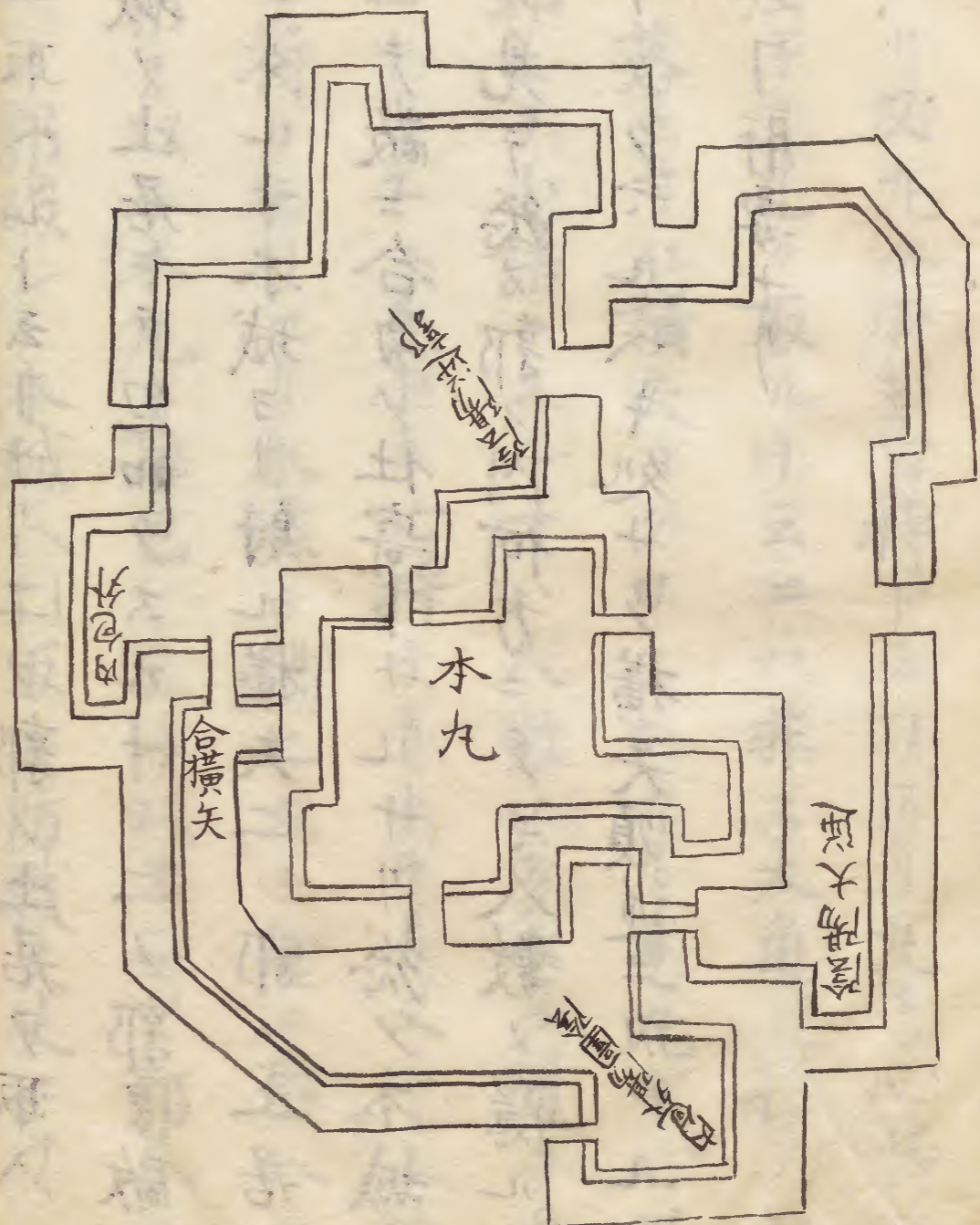
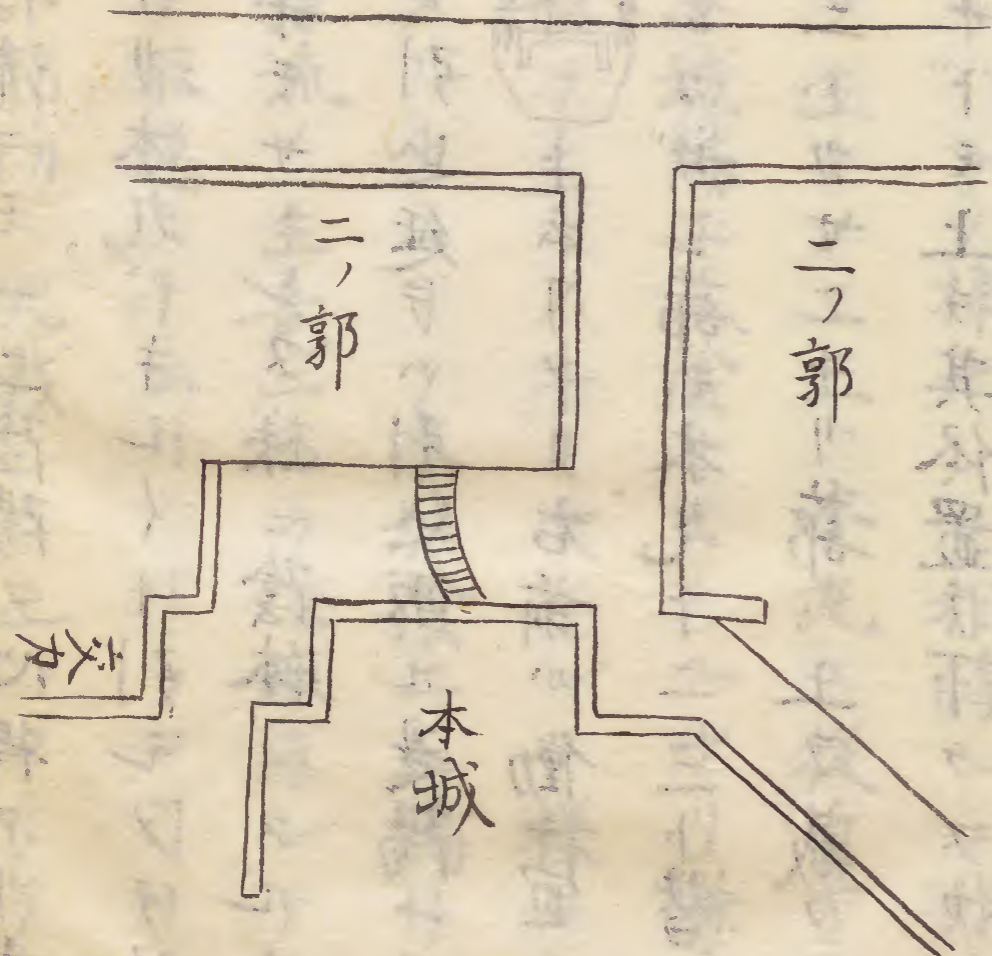
一山鹿流ニ城ハ丸ク小ク取ヘシ分ニ相應セサル大
 ナル城ハ小勢ヲ以テ矢窓ヘ間配リ数ノ小口ヘ人

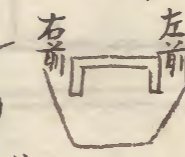
數ヲ配ル寸ハ軍勢薄キリ堅固ニ城ヲ持ツナラ
 サルユヘ小サク取ヲヨシトス大軍ノ時ハ郭ヲ取
 出ス氏勝キヨキ様ニスヘシ丸ク取ト云ハ長ク取
 由四角十丸ク取ル内ノ廣狭各別ナリ又折込ハ
 外ノ圍百間ヲ長クスル木横十間ニ長四十間餘
 レハ内ノ坪數四百坪ナリ四角ニスル寸ハ一方ニ
 十五間ツ、京ヲ内ノ坪數六百廿五坪ナリ丸ク取
 寸ハ内ノ坪數七百八十八坪餘ナリ其上四方ニカ
 ド多キ城ニ邪折出升形杯ヲ別ニ取ラサレバ横矢

自由ニカ、ラズ丸寸ハ横矢四方ヨリ入違カ、ル
ナリ又丸寸小キ心持ト云可也ナリ丸キ心持ト云ハ
強キニ丸ク取ルト云ニハ非ス大角大邪ノ郭ニ隅
ヲ落ス寸ハ横矢ヨクカ、ルナリ是丸キ心持ナリ
郭々ヲ小詰ニスル寸ハ人数ノ多少ニ随テ用捨自
由ナルユヘ是小キ心持ナリ又ヤニ陰陽ノ
心持ト云ヨリナリ本城ヲ陽ニ三ヲ陰ニ取ヘズニ取
郭ヲ以テ本丸ヲ取包ニ三ヲ以テ二ノ郭ヘ取ホ
二ノ郭破レテ本城ヘ引取ル防戦丈夫ニ保ルヤウ
ニ取ヘシト云フナリ二ノ郭ノ土居ヲ取入レテ本
城ノ土居ニテ包如クスル寸ハ二ノ郭ヲ敵ニ取ラ
レタル寸本城ヨリ射ル横矢二ノ郭ノ土居ニツカ
ヘテ敵ニ合カノ仕寄トナルナリ然レ本城ヲ敵ニ
ノ見テ然レ郭ノ内何方ニテモ人数ノ隠ルヘキ處
ナク夕下ルヘキ處ナク横矢順逆ニカ、ル様ニ取
ルヲ肝要ナリ



又圖



謙信流ニモ一二陰陽ノ心得アリ本丸ハ陰二三ハ
陽ナリ本丸ハキレト引シメテ延タル曲輪ヲセ
ズ午モサ、レヌ様ニ陰体ニスルナリ二ノ丸ハ延
テハ引込延テハ引込取ル是陽ナリ是ニ付左前右
前  ト云フアリ右前ハ働ニ廻シ左前ハ守ルニ
宜シカガシ蔀モ本丸ト二三ト替リアリ本丸ハ蔀
二三ハカサシナリ蔀ハ上ヲ藏メ午本ヲ防クユヘ
樹ナドモ上ヲ其俟置テ下ヲスカス是蔀ナリカサ
シハ下ヲ其俟置テ上ヲスカス遠テ拂フ為ナリト

是謙信流ト山鹿流ト陰陽ト云詞ニ指処替ルユヘ
ウラハラソ様ナレ氏相恃ルニ非ス北條山鹿ハ本
丸ヲ主トメ二三ハ本丸ニ從フヤウニスルト云フ
ヲ本城陽二三陰ト云タルナリ謙信流ハ本丸ハ陰
ノ形ヲ主トメ午モサ、レメ様ニシ二三ハ働ヲ主
トスルト云フヲ本城陰二三陽ト云タルナリ畢竟
謙信流ノ主竟二三ヲ攻取ラレテ上ニ本丸ニテ二
三ヲ取返スト云フハナラヌナリ三ハ三二ハ二
ト一郭切ニ死戦シ二三ヲアケテ本丸ヘツボムト

云フハ十キヲナリト立タル処是主意ナリト知ヘ
シ又山鹿流ニ平城ノ郭ハ一郭々々ニ掘切ヲ入レ
郭統カザルヤウニスベシ郭統ク寸ハ一方ノ小口
破ルハ寸ハ然ノ虎口一度ニ破ルハ失アリサルニ
ヨリ土居屏モ内ヨリ外ヘ一郭切ナルヘシ一方ハ
二ノ郭ニテ土居屏ヲ仕一方ハ次ノ郭ニテ土居屏
ヲ仕西方ノ土居屏ニテ持ヤウニスル寸ハ郭ニ下
ラズノ一虎口破ルレハ然ノ曲輪免ニ山城ノ地ニ
高下アルユヘ郭ヲ統ケテ不苦郭ヲ一郭切ニセニ
トスレハ陰陽和合ノ繩用ガタタ普請ニ手向入ル
ユヘ郭ヲツヅクナリ祖ニ平城ニモ境目ノ城又
ハ小身ナル人ノ城ニハ城狭キユヘ郭ヲ統ケヌ様
示スルヲ唯味山城ノ格ヲ可用ト云ヘリ又本丸ハ
外ヨリ見エヌ様ニ取包ムヲ本法ナリト云ヘ尺後
ニ沼池ヲカニヘ或ハ海杯アリテ十町千四五町モ
馬寄十キ方アラハ本丸ノ見ユキヤウニ取テモ不
苦ナリ但謙信武州崎西ノ城ヲ攻ラレタル寸此城
後沼ニテ堅固ノ要害ナレハ本丸ヲ外ヨリ見ユル

様ニ取タリ謙信巡見ニタルニ本丸ヨリ二ノ丸へ
移ル廊下橋スノコ橋ナリケル地白ノ帷子下ノ水
ニ移ルテ見エタリ此比地白ノ帷子ハ女ノ著スル
ナリ謙信三度ニテ巡見セラレタルニ毎度如此
是ニヨリテ本丸ニ人質ヲ籠置タルヲ悟リ棧騎
和泉ヲ以テ大牛ノ虎口ヲ一旦ニ乗取ヘキ様ニ攻
シメタリ城中ノ軍兵皆大牛へ集マリテ防寸合戦
ノ最中ニ近辺ノ在家ヲ毀テ筏ニ俎ニ後ノ沼ヨリ
本丸ヲ可致勢ヲアラハシ軍兵筏ニオリ互聲揚
ル寸本城ニ籠置タル女童騒動ノ二ノ丸へ走出ル

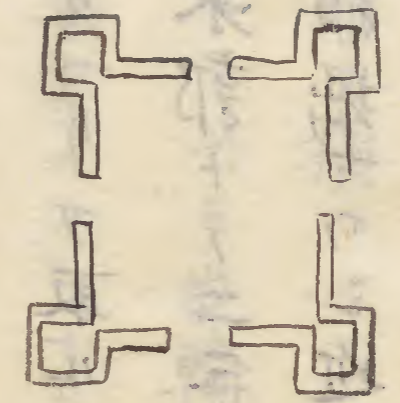
大牛ヲ防ク軍兵ハ是ヲハ不知城内ニ返忠ノ者アリト心得或ハ自害或ハ降参ノ城遂ニ落タルヲア
レハ心得アルヘキナリ又沼ヲカタトル城ニハ
本城ヨリ横道ヲスヘシ海ナラハ舟ヲ蓄置ヘシ又
海ハ遠浅ニテ潮ノ指引アルヲ上ノ要害トス又沼
ナラハ沼ノ内ニ水柵ヲ結ヒハミ狭ク土居ヲ千ガ
ヘ土居ノ心ニ築キ上ニ植物ヲスレハ本丸見切カ
タキ物ナリ杯云ヘリコノヤウナルヲハ人々ノ了

簡ニライクヲモ有ヘシ諸流共ニ城内クツロギト
云習アリ謙信流ニハ大中小ノ城取相應ニクツロ
キアルヘシト云ヘリ山鹿流ニハ三分一ノクツロ
キト云ヘリ又境目ノ城敵ヨリ攻ルニ攻カタク敵
大軍ニテ攻取タル寸取返ヘスニ午間トラサル習
ト云フアリ是ハ城ヲ陰ノ繩張ニナカツロギ少十
ク取トナリ敵ハ他國ナルユヘ兵糧澤山ニハ籠置
サレハ不叶ユヘ取返スニ午間トラズ味方ハ自國
ナルユヘ地下ニモ兵糧アリ後誥モ心尽ナレハ十

日ノ兵糧ヲ籠ホドノライ地アレハ吉ト云ヘリ
謙信流ニハ高ミニ水ヲ湛ヘ本丸ニテトノ置立去
寸切ラノクナリ又火ヲ付テノク尺云ヘリ又大城
ノ小城小城ノ大城ト云習アリ千籠ヘキ城ニ三百
籠リテモ廣カラス二千三十籠リテモ狭カラヌ取
ヤウナリ山鹿流ニ陽中陽ノ繩張トテ捨掘捨郭ヲ
用テ様子ヨク取タル城ヲ云ナリ謙信流ニハ矢倉
ヲ張出ノ掛ル寸ハ矢倉ニ軍兵スニフ故何ホドモ
分外ニ籠ラルト云ヘリ又郭ヲ敵ニ取テレタル

寸取返スニ午向入ラヌ仕様ト云ハウケ弱キ処ニ
ハヒカヘラツヨクスルヲナリ又山鹿流ニ行トマ
リノ郭行トマリノ小口山城平城共ニ嫌ヲナリ又
山城ニハ腰郭ノ心持アルヘシ腰郭トハ帶郭ノ下
ナリ郭ノ横ハ三間バカリニ細ク長ク本丸ノ腰
ニ取ルヲナリ曲輪ヲツヅクルナニモ是ヲ用ユニ
重ノ要害ニナルナリ又石弓ノ仕掛モ郭ノ地畧廣
ケレハ是ヲヨクル場アルユヘ腰郭ニ仕カクルナ
リ尤本丸ヨリハ二三ヲ見下スヤウニスヘシ且又
郭サキ小口下其外横矢サキニ無益ノタナリ多キ
寸ハ敵ヘノ合カニナルナリ尤外へ出ル処ニ射向
ニハタナリヲ取ル所押付ニハ大ニ忌ナリ又山城
ニハ水郭トテ二三ノ郭ノ間ニ外ニ見ヘサルヤウ
ニ一郭堀マワシ近辺ノ水ヲセキ留用水トシ何レ
ノ郭ヘモカマワズ本丸ヨリ小口ヲアケテ用水ノ
郭トスルナリ麓ニ水ヲ用ルニモ扇ノ繩トラヒ又
処ハ水郭ヲ取ヘシ又山鹿流ニ城取五ノ曲尺兼云
秘傳アリ第一ニ本有ノ曲尺是所カ子ハ自然ト具

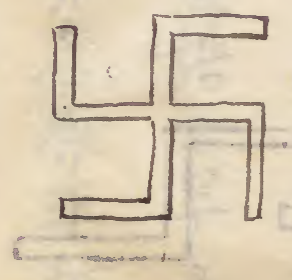
ハリテアルモノニテ習傳授ニ拘ハルヘカラズ具
 云フナリ北條流神心ノカ子ト同事ナリ第三膝襪
 ノカ子ト云ハ機織女ノ織布ヲ巻モノナリ小口升
 形櫓郭皆是ニ象ルナリ



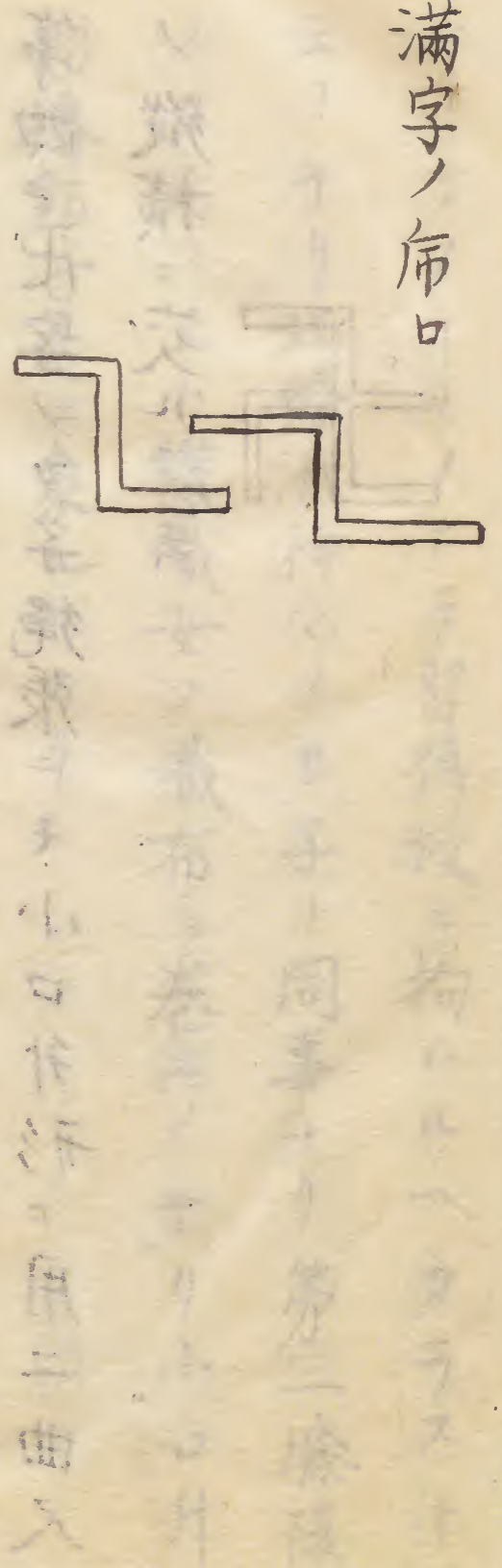
第三重々ノカ子ナリ云ハ曲尺ヲカサ子テ城ト城
 カサナラザレハ敵ヲ利ナシ無益ノ事ナリ



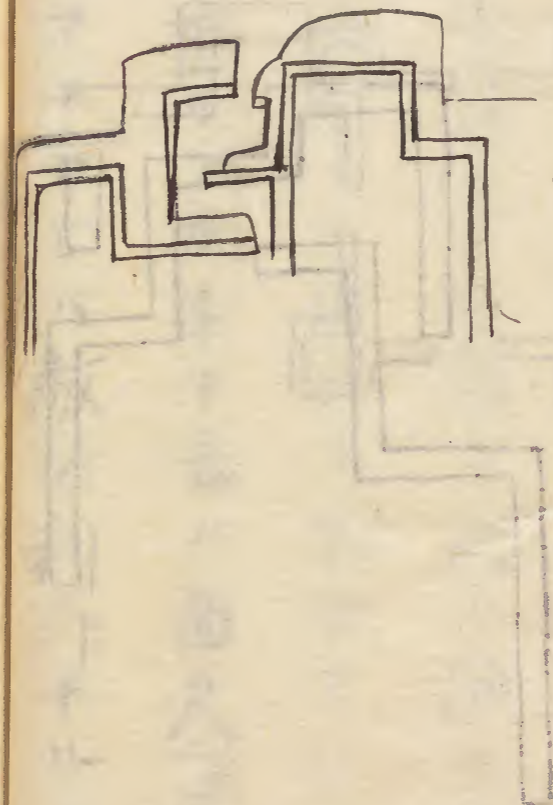
第四ニ卍字ノカ子繩張ニモ小口升形ニ用ユ曲尺
 ノ縦横ニ交ルラ云



滿字ノ席口



滿字ノ曲輪升形

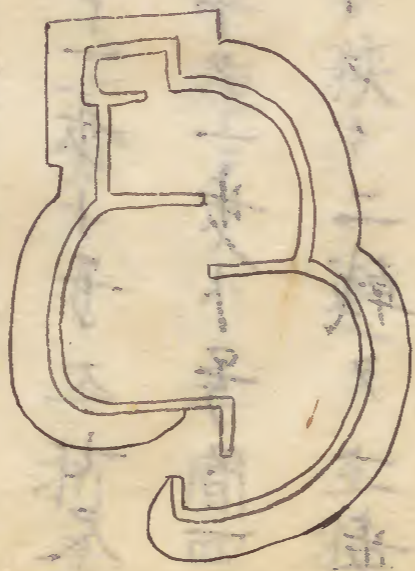
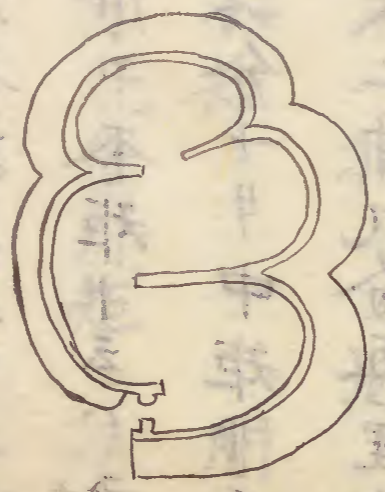


第五ニ心字ノ曲尺ト云ハ本丸ヲウケテ二三ニテ
包ム形ナリ又人心ノ曲尺十字ノ曲尺ナト云フヲ
云ヘリ又滿字ノ曲尺ノフ謙信流ニハ十文字ニツ
リアヒテ頰ノ姿ヲツケタル形ナリト云何レモ皆
理ヲ談スル上ノフナレハ推メ知ヘシ又山鹿流ニ
境目ノ城ハ十ハ九ツ山城ヲ取ヘシ人数少クテモ
木石ナトヲ落シ地勢頰ニメ敵ヨリハ逆ナリ敵陣
ヲ見切後詰ヲ早ク見付ル類徳多シ森林陰阻ヲハ
後ニアテ廣原平陸ハ前ニアツヘシ大河ヲ前ニア

タラハ河上城トノ間ニ合戦場ヲ残スヘシ山ノ尾
 味方地ヘ一里モ半里モ統タラハ城ハ跡ヘシサリ
 テ前ニ空地ヲ置テ取ヘシ切所ヲ二重ニ設ル心ナ
 リ又路ハ夕ニ堅固ノ地形ナクニハ引退テ取ヘシ
 大形ハ敵ノ来ルヘキ道筋ヲ押ルヲナレ氏城ヨリ
 人散ヲ出シ防戦ナハ二度ノ戦アルナリ直ニ敵ヲ
 城ヘ受ルナハ一度ナリ尤境目ノ城モ丸ク小ク取
 下勿論ナリ

付城

取出

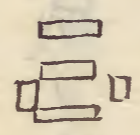


本城ハ本城ノ二層中朝十二二八式ニ似テ一長戦
 一長戦ニ似テ敵ノ来ルヘキ道筋ヲ押ルヲナレ氏城ヨリ
 人散ヲ出シ防戦ナハ二度ノ戦アルナリ直ニ敵ヲ
 城ヘ受ルナハ一度ナリ尤境目ノ城モ丸ク小ク取
 下勿論ナリ

度敷

一度敷ノ下謙信流ニクワシ、他流ニナキナリ是
ハ夕カバカリノ傳ト云本矩中矩外矩ト云ナリ
本矩ハ木丸ニ用ユ中矩ハ二三ノ丸ニ用ユ外矩ハ
総河外河ニ用ユ三重ノ曲輪ノ時ハ三ノ丸ニ外矩
ヲ用ユ本矩ト云ハ弓杖一ツヲ一步ト号ス七尺五
寸三分ナリ中矩ト云ハ一戟半ヲ一步ト号ス一丈
一尺二寸九分五厘ナリ外矩ト云ハ二戟ヲ一步ト
ス一丈五尺六分ナリ本丸二三ノ丸モ一步ニ一ツ

充鉄炮サマヲ切ナリ弓矢間ハ其間ニ切込ナリ二
歩ヲ一折トス城ノ曲折ノ至テ狭キハ是ヲ至極ト
ス本矩ニテハ二間三尺六分中矩ニテハ三間四尺
五寸九分外矩ニテハ五間一丈二分ナリ二折ヲ一
段トス地形ノハハ是ヲ狭キ至極トス地形ノハハ
トハ土居ト土居トノ間ナリ本矩ニテハ五間
一丈二分中矩ニテ七間三尺一寸八分外矩ニテハ
十間二丈四分ナリ二段ヲ一佩トス繩一ハエナリ
本矩ニテ十間二丈四分中矩ニテ十五間三丈六分

外矩ニテ二十間四寸八分ナリ四佩ヲ一渡リトス
本矩ニテ四十間九寸六分中矩ニテ六十間一尺四
寸四分外矩ニテ八十間一尺九寸二分ナリ六渡ヲ
一繩辛トス是虎口ト虎口トノ間ノナリナリ本矩
ニテ四町五尺七寸六分中矩ニテ六町一間二尺六
寸四分外矩ニテ八町一間五尺五寸二分ナリ是五
十騎ニテ一小口ヲ持カ子ナリ敵ヨリ園ムニハ二
百五十騎ナリ  如此ナリ

一謙信流矩墨ノ大墨ト云フアリ本丸大城ハ三町四

方中城ハ二町四方小城ハ一町半四方ナリ堀土居
敷合テカタクニテ大城ハ三十間中城ハ二十二間
半小城ハ二十間ナリ但ニ四分三ハ堀四分一ハ土
居ナリ堀外ヨリ堀外ニテ総渡リ大城ハ四町中城
ハ二町四十五間小城ハ二町十間是本丸ノカ子ナ
リ二丸ハ大城ハカタク一町半中城小城ハ一町堀
土居敷カタクニテ大城ハ四十間中城ハ二十七間
半小城ハ二十五間ナリ渡リ大城ハ八町北間中城
ハ五町四十間小城ハ五町ナリ三丸ハ大城ハ方

夕く二町半中城ハ二町小城ハ百間但ニ小城ハ是
ヲ外河トス堀土居カ夕くニテ大城八十間中城五
十五間小城三十五間渡リ大城十四町四十間中城
十町三十五間小城八町五十五間ナリ然河ハ大城
三町半中城三町是則外河ナリ大城ノ外河六町十
リ堀土居大城ハ一町中城ハ三十九間大城ノ外河
一町九間渡リ大城北二町四十間中城ハ十七町十
四間大城ノ外河三十六町ナリ又五十騎ノ士大将
ハ本丸方一町ニテ屏裡四町持ノモリナリ二三九
ハ方一町半然河外河ハ方二町是ヲ墨地ノフマヘ
トスト云ヘリ山鹿流ニハ公方管領ノ居城本丸大
ハ九十間四方中ハ八九十間小ハ六七十間屋敷構
ナレハ外部ナキニハ百三十六間四方但ニ内十六
間ハ土居敷ナリ國持ノ居城ハ四十九間四方或ハ
五十九間四方四十三間四方ナルヘニ境目ノ城或
ハ小身ノ士大将ノ居城ハ三十五間四方又ハ三十
間ハ五間ハカリナルヘニ城内ノクツロキモ是ニ

テヨレト云ヘリ

一謙信流ニ公方管領ノ居城ニハ十六七里北里ハカ
川ニ要害ヲカマユ五箇國十箇國ノ大将ハ十四五
里カ間ニ枝城ヲ築キ境目ニ關所ヲスル一國一
城ノ主ハ八九里ホトニ取出ノ要害ヲ心カクハ
トナリ愚按スルニ度數ノ積リ人々ノ了簡タルハ
シ大槩ヲ知ヘキ為ニ右ニ記ス木矩中矩外矩ノ下
ニ謙信流零數ヲ設タルハ秘密ノ為ナリ強クニ物
ルハキコトニ非ス

癸卯八月廿日成

澁江士禮寫

城制下
曲抄

鈐録第十六

一由村ニ横矢ナリ謙信流ニマナ健下ニ習アリ出
角ハ横矢動ナリ此様付シハ横矢ナリナリ八角
ハ大分ノ付テ出張通ル処ハ八角ニスルナリ扇風
樽邊外ハ出張ナリ横矢ナリ水々ナリ石
人其上ニ立テ仕上ルハ中ニナリ石垣ナリ

一謙信流 方常領之居城ニハ十六七里九里ハカ

一要害ヲカケニ五箇國十箇國ノ大将ハ十四五

鈴録卷第十六

城ノ主ハ八九里ホトニ取出ノ要害ニ心ヲクハシ
トナシ患梅ノ五箇國ノ類リ人々ノ所商タリハ
ト大變ノ知ハナシ右ニ記ス本館中矩外非ノ
謙信流ノ設タレハ秘密ノ所ナリ強ク一物
ハカキトニ非ス

鈴録卷第十六

城制下

曲折

一曲折ハ横矢ナリ謙信流ニママト繩ト云習アリ出

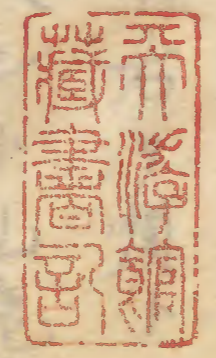
角ハ横矢弱ケレハ櫓ヲ付レハ横矢キクナリ入角

ハ矢倉ヲ付テ出張過ル処ハ入角ニスルナリ屏風

ハ長クノビタル処ニ用ユ升形トハ櫓臺サナナリ

櫓臺ハ外へ出張ル寸ハ横矢キク水タハキヲ石ニ

メ其上ヲ土手ニ仕上ニハナキナリ少シ石垣ヲ



仕中ノ土子ニ竹木ヲ植ヘ其竹木ヲ中切ニス此ガ
 子ニ但ニ竹ヲスデカヘニ植テ下枝ヲスカサ置テ
 ハ夫ノ妨ニナラズ高石垣ニ却テ不堅固ナリト知
 へシヒズニハ両方ナレバニラミト云カタクナ
 ハヒズミト云角カケ角オトシ皆圖ヲ見ルヘ
 出スミ

北條流ニ角落ト云ハ入角ヲウロコガタニ突出ス
 ヲモ出角ヲ欠ヲモ云ト横矢順逆トハ右ヲ順ト云
 直ニスヘシ左ヲ逆ト云ヒヅメテ取ヘシト山鹿流
 ニ屏風折ハ繩張直シカラズ百間モ二百間モ一文
 字ニ取出タル郭ニ用ユ俄ノ普請ニハ土居ヲハ直
 ニメ屏ハカリ折ルヲアリ屏折ト云ナリ半間ホド
 ツ、ニ折ナリ又内折外折ト云フアリ外へ折ルハ
 ライ地内ニアリテヨシ是ヲ味方折ト云内へ折ハ
 内狭クナル是ヲ敵折ト云角落ニハ山城或ハ石垣



高キ処ニハ用カタシヒズニハ兩方ニ升形横矢ヲ
 取寸ハ相打ノ害アリ故必一方ハヒズマズ此ナリ
 又横矢塵落シト云フアリ塵落シヲ横矢ニ用ルコ
 ナリ...

城池

- 一 異国ノ書ニ城ト云ハ土居ナリ城身凡云池ト云ハ堀ナリ壕凡云ナリ
- 一 謙信流堀ハ大城ハ本丸廿二間半二三以九ハ此七間半総河ハ十九間半ナリ中城ハ本丸十二間半二三以九十七間半総河九間半ナリ堀ハ深サ大城三間半中城ハ二間半小城ハ二間ナリ此土ヲ以テ土居敷相應ニナリ但シ地少高卑ニヨルヘシ総河ハ堀岸ニカラ堀ハ片マダンナリ年前ヲ深クスル

狭キ故ナリツマツリハ横曲輪ニ用ニ其外ハ皆ツ
マシラズナリツマ折ナハ曲輪ナリニ隨テ堀内
ナリコト如此ツマシラズトハナリコト如此スルコトナ
リ水戸遠ハ不淨ヲ防為ナリ外曲輪ハ堀内曲輪
ハ續ク処ヲハ土居ニテ仕切テ土橋ニスルコト云ナ
リ土橋ニナラヌ処ヲ木板橋ニ以テテ土居ニテ細
シ仕切ル内ヲ用水ニ用ルナリ又山城ニハ豎堀ト
一云國アリ山城ハツルコトアサマナリモノ云ハ是ヲ
用テ敵ノ勢ヒヲ分ツ山鹿流ニモ同事ナリ北條流



ニ内堀外堀ト云フアリ内堀トハ山城ナリ外堀ハ
内ニ内虎落ノ替リニ堀ヲホル腰部ノ内ニ長堀テ
利多シト云ヘリ外堀ハ城ノ方ノ土居水際ハカク
バイニシ水叩キハ切立タルヨシ又カラ堀ハ道ニ
ナル益アリ又塵取トテ堀向ニ雁水ヲスルヲ云横
矢ナキ処ニスヘシ其向ノ屏ニ切戸ヲ拵置テ石火
矢ヲ仕カクヘシ敵横矢ナキ処ナルコトハ埋草ヲ以
テ仕寄ルヲ打上シク為ナリ又塵防ト云ハ城ヨリ
出ルニ堀へ落ヘキ危キ処ニ土居ヲスルコト云高ハ

足ノ三里タケニメ上ノハハ三尺ナリ又不淨捨小
云ハ敵ヨリ見エヌ様ニ入堀ヲ拵置テ舟ヲ置ヘシ
山鹿流ニ堀ハ古法ハ矢カハリ十五間トテソレ
ヨリ廣クハセズ今ハ不然但小口脇十歩ノ堀ニ堀
口廣サ十間ヲ上トシ十五間ヲ中トシ北間ヲ下ト
ス又大將ノ居城ハ十五間上北間中北五間下ト云
ヘリ上中下ト云ハ繩張アリキ城ハ廣クモ不苦
繩張ヨキ城ハ堀廣キハ損多シ堀廣ケレハ外ヨリ
見スキ又横矢丈夫ナラヌナリ堀ノホリ様上ト云

カル際ヲ急ニホリ下ヲ十タラカニスヘシ渡ルニ
先ノ深クナル様ニホルヘシ敵方ヲ十タラカニメ
此方ヲ急ニスヘシ又堀底ニ見ヘサル様ニ豎横ニ
ウ子ヲ付ヘシ且又堀ニハ水鳥ヲハ十子置ヘシ又
ヌマヘツバキタル堀ハ深クホルヘカラヌヌマノ
水浅クナルモノナリト異國ノ法ハ太白陰徑ニハ
堀口ノ濶ニ丈ナレハ深一丈底濶一丈ト云ヘリ威
南塘カ法ニハ堀ハ土居ヨリ十歩ホド外ニホリ堀
ノ内ニ羊馬城ヲ築ク羊馬城ハ土居ノ高一丈已下

八尺以上ナリ廣ク凡ニ丈ニ踏ヘカラス是日本ニ
十キロナリタトハ、帶曲輪ノルイナリ城ノ土居
上ヨリ放ツ矢鉄炮ハ近キ処ニハ用ニ立ザルユ
コノ羊馬城ヲ以テ矢鉄炮ノキ、ヨキハ二重ノ
要害ナルユヘ攻破カタキナリコノ屏ハ磚ニテナ
リ凡石ニテナリ凡土ニテナリ凡三合土ニテナリ
凡スヘシ此ヲ牛馬牆凡云ナリ堀ノハハ三丈五尺
ヲ狭キ限トス闊ホドヲヨシトス深ハ一丈五尺ニ
丈ナルヘシ深ホドヨキナリ水アルハ第一ナリ無

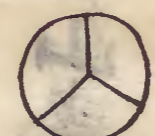
水トテモ堀ハアルヘシ水深クメ泥アルハ更ニ妙
ナリ事ニ臨ンテハ水中ニ刺柴竹籤鉄鋒ヲウエヘ
シ呂坤カ実政録ニハ堀ノ深三丈口ノ闊十丈底ノ
闊三丈ト云ヘリ堀ノ底ニ十間ニ一ツ、圓井ヲホ
ルヘシワタリ一丈深一丈是ヲ重淵ト云堀ノ兩岸
ニハ馬藪茅蘆香附麥門冬ノルイヲ栽ヘシ土崩レ
サルナリ堀ノ近處ニ高阜ヲ嫌ナリ
一 同流石垣カウバイノ矩^{カチ}ニ切込ハギ打込ハギ野ツ
ラ三種アリ切込ハギト云ハタカ子ヲ以テスリ合

セタルリ云曆ノ矩ヲ用ユマルキモノヲ十二ニワ
リタルカウバイナリ打込ハギトハ槌ニテカボヲ
打ヒシギテツキ合セタルヲ云是ハ十ワリトテマ
ルキモノヲ十二ワリタルカウバイナリ野ヅラト
云ハアリナリノ石ニテツキタル石垣ナリ是ハ八
ツワリナリ  是ナリ兩ヲトシト云ハ
下カウバイアリテ屏下直ニスルヲ云  如
此切込ハキハ四分一打込ハキハ五分一野ヅラハ
ナラントテ上一トヲリバカリヲ兩ヲトシニスル

ナリ又ハダカ鉢巻ト云フアリ堀ナニニ地ヨリ石
垣ヲスルヲ保石垣ト云土居ノ上ニ少シ石垣ヲス
ルヲ鉢巻ト云何レモ石垣ヲ低クスルユヘ右ノカ
子ナラズ氏心得次第ニスヘシ北條流ニ石形ハ四
方ナルカヨシ丸キハアシ、^{ヒカ}扣ハ長キヲヨシトス
栗石入様ハ石尻ヨリ長ク入ヘシ惣メ石垣ハ石ノ
品々ニ念ヲ入ムツカシキモノナリユヘ不入処ニハ
無用ニスヘシ内脇ナドノリノ廣クナラヌ処ニ
ハ石垣ヲ可用ト云山鹿流ニハ石垣高サ三間内

ノ敷ハ六間ノ内ニテモ不苦外法此ニ一間二尺ニ
スヘシト云愚拙スルニ石垣ハ加藤清正ノ一流ア
リ彼家ノ士ニ飯田覺兵衛三宅角左衛門ヲ両カリ
ト稱メ石垣ノ為人ト云シモノナリ石垣ヲ築ニハ
幕ヲ張テ一圓ニ外人ニ見セズト云今ハ町人ノ口
ガトナリ武士ハ皆其術ヲ不知清正ノ築テ此ハ大
坂尾州肥後ノ熊本ナリ清正ノ石垣ハ石ノ中ニト
タニヲ入レテ石ヲツナグト云ヘリ彼家ノ遺法今
ニアルヘシ尋求スヘシ畢竟ノ処ハ石垣又ヒトツ

起セハ皆崩ル、モノナリ石垣ナシノ土居ニ竹ヲ
植タルニシクハナシト云

一謙信流土居ハ何レモ扇ノ矩ヲ用ユ九キヲ三ニシ
リタルカウバイナリ  是地ノ天性ノクヅレナリ
但シ沙土子ハ土ニ因テカワリメモアルヘシ土居
ニ武者走トテ屏ウラノ方ニ段ヲ付ルガシキ重子
坂ノニヲ用ガシギトハコダシノ如クニスカサ
子坂ハ< 如此女坂ノ如ニス急ナル処ニ用ユヘ
シ犬走、堀向ノ地形ト平ナリ人一人通ルホトニ

スルナリ北條流ニ土ヲタ、キ付テ土居ニスルヲ
タ、キ土居ト云高三間ニ鋪八間ニ六間ノ土
居鋪ナリ芝ヲカサ子テ土居ニスルヲ芝土居ト云
高三尺ニ幅一間ニスルト云リ土ヲ築テ土積ハ高
三間鋪八間上ニテ二間半ニスル寸ハ堀口十間ノ
土ニテ少アマルナリ山鹿ハ深サ五間ノ堀ト云但
真土ハ土不入野土ハ多入ナリ山鹿流高三間敷八
間ト云ハ外法一間上ノヒラミ三間内法四間ナリ
是ニテ外ヨリノリニクキナリ芝土居ハ外法ハ一

間ニ二尺内法ハ一間ニ八尺ナリ又土居ノ高下下
云トアリ本丸ノ三間ニ鋪八間ナラハ馬出ノ土居
ハ二間ニ鋪六間ナルヘシ又雁木坂ハ井形ノ内門
ナトノ脇又ハ馬出ナトノ内ニハ地ライナキユヘ
用之外ノ処ニハ引込キ坂ナルユヘアシ、合坂ハ
二條ノ坂ノ下ニテ出合タルナリ大ニ忌コナリ重
ナル坂ヲ上トス皆敵ニ城ヲノラレタルオフセシ
便ヲ以テ云ナリ又坂ノ下口ニ土俵ヲ置テフミダ
レニスルト是又不宜ナリ又山城ニ屏下ノ竹木ヲ

切拂ト切拂ハサルニ各損得アルヲ云ヘリ異國
ノ法ハ城制高ハ下ノ闊ニ倍ス下ノ闊ハ上ノ闊ニ
倍スト云テ古法ナリ高五丈ナレハ下ノ闊二丈五
尺上ノ闊一丈二尺五寸ナリ人足積ハ二丈五尺ニ
一丈二尺五寸ヲ加テ三丈七尺五寸ニシテ口リテ一
丈八尺七寸五分高五丈ヲカケテ一尺ノハハニテ
九十二丈七尺五寸一日一人ニ土二丈ツシ築ク積
リニメ四十六人餘ナリ一步ニテ二百七十八人百
歩ニテ二万七千八百二十五人一日ニテ十方一十百

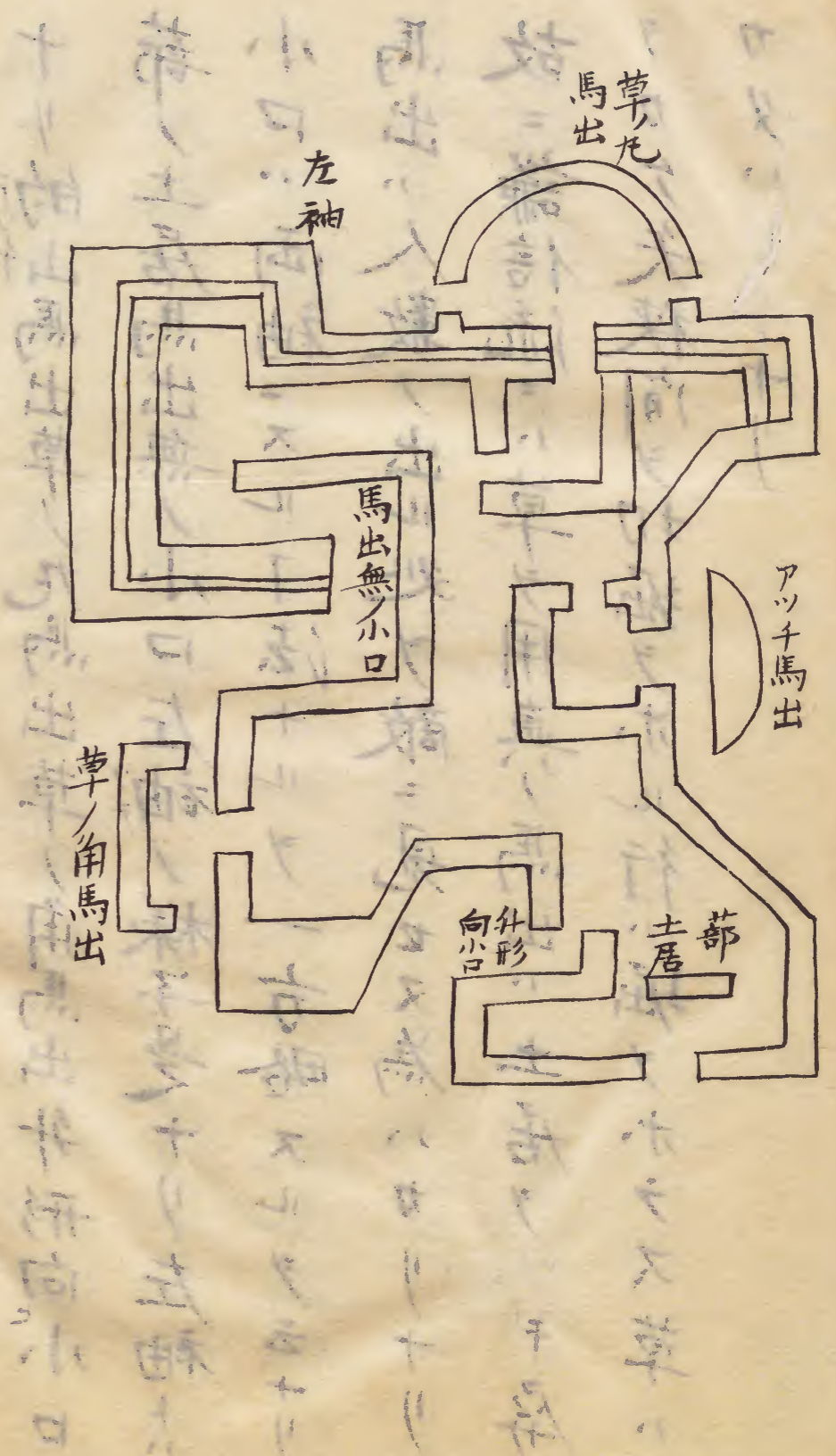
七十人是ヲ以テツモルヘシト太白陰経ニ云ヘリ
武経总要ノ説モ同シ又一説ニ下ノ闊一丈ナレハ
上ノ闊四尺ナリ城高五丈ナレハ下ノ闊モ五丈上
ノ闊二丈如此スレハ尤堅固ナリト云ヘリ威南塘
ノ説ニハ城身ハ必四丈或三丈五尺ナルヘシコノ
高下ハ平地マテノ積ニテ城身ノ上ニ又塚ト云モ
ノアリ上ノ闊二丈五尺下ノ闊六丈ナリ中ノ城十
ラハ城身ノ高サ二丈五尺上ノ闊二丈下ノ闊五丈
小城十ラハ城身ノ高二丈上ノ闊一丈五尺下ノ闊

四丈是ノ大較トス是ヨリヒロキヲヨシトス城身
ノ高一丈五尺ナルハ決メ籠城ハナラヌトナリ扱
城身ハ磚ヲ第一トス石ヲ第二トス土ヲ第三トス
石第一ナルハケレヒ火ニ遇寸ハハクマラヌモノ
ナルユヘ磚ヲ第一トスト云ヘリ呂坤カ実政録ニ
ハ大城ナラハ下ノ閣五丈上ノ閣二丈五尺小城ナ
ラハ下閣三丈上閣一丈五尺高サハ三丈五尺低ク
ハ三丈ヨリ低カルヘカラスト云ヘリ尹畊カ堡約
ニモ城大ナルハ小ナルニ如ズ小ナル堅固ナリ人
數ニ合セテ云ナリ直ナルハ曲ニシカズ曲ハ守ヤ
スシ横矢ノキクヲ云ヘリ昔趙普カ城取ヲ宋ノ蒞
祖ナホシ玉フモ直ナルヲ嫌テ曲ナラシメタリト
カヤ拇スルニ異國ハ城身^ドハカリニテ屏ナシ日本
ニハ土居ノ上ニ屏ヲカクルユヘ土居依ニ且ヘ屏
ハノリヤスキモノナリ得失了簡アルヘキナリ
尚下ノ牆ノ処ニ委ク云ヘシ

四ノ天...
 高ノ丈...
 尚シ...
 口ノ丈...
 取ノ丈...
 取ノ丈...
 取ノ丈...
 取ノ丈...
 取ノ丈...
 取ノ丈...
 取ノ丈...
 取ノ丈...
 取ノ丈...

門
 大...

一 謙信流ニ藝龜利繩七箇條ト云トアリ馬出シノ習
 ナリ^フ的山馬出草ノ丸馬出草ノ角馬出弁形向小口
 部ノ土居馬出無ノ小口左袖ノ様子足ナリ左袖トハ
 小口ハ両袖ニスルト法ナルヲ一方略スルヲ云ナリ
 馬出ハ人数ノ出ル处ヲ敵ニ見セ又為ハカリナリ
 故ニ謙信流ニハ草ヲ用真ノ馬出ハ土居ヲツキ屏
 ヲカケ矢狭間ヲ切堀ヲホル行ハ堀ヲホラス草ハ
 カタハカリナリ

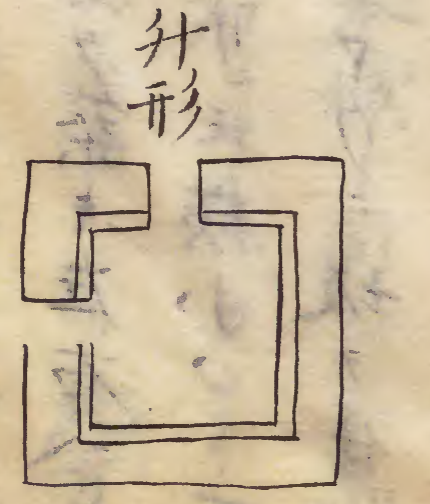
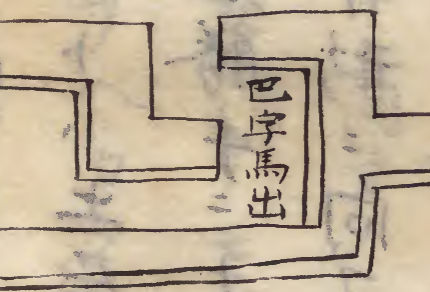
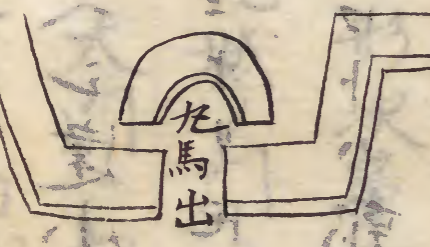
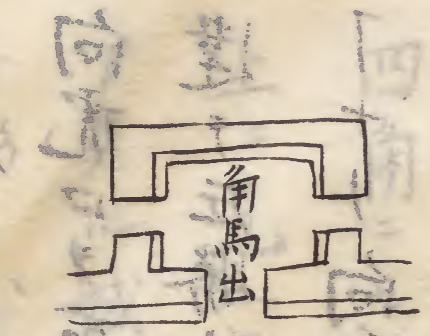


一 総ノ虎口ニハ必升形アリコノ図ハ略スルナリ又
馬出ノ矩ハ大城ナレハ外矩一段中城小城ナレハ

中矩一段ナリ三ツムキニスヘシ三ツムキナリ
此三同間ナルヲ云方圓ノ馬出替ナリ堀公此モ同
ナリナリ土居敷ハ大城ハ中矩一段中小城ハ本矩
一段ナリ高サハ本城ノ土居ノ半分ナリ又本丸ニ
虎口三二丸三五三ノ郭ニハ總何ニ十二ト定メテ
都余門鎮守門待賢門ナト、種々奇怪ノ名アリ後
来ノ附会ナルハニ北條流陰ノ虎口陽ノ糸口ト云
コアリ陰ノ糸口ハ内ヲ守ニ便有テ外へ出所ヲ難
ナリ巴ノ字ノ馬出曲尺ノ馬出ナリ此並赤リ陽ノ糸

口ト云ハ外へ出勤由利アリ横扁口並扁口ノルル
 ナリ升形ト云ハ^{カサ}衡門ノ内ニ大内ヲスル其間ヲ云
 来リ衡門ハカリニ兵ハ扇ヲアクル寸一重ニテ内
 見ユルナリ衡門ヲ閉テ人形ヲ升形へ出シ扱大内
 ナ閉衡門ヲ開テ人数ヲ外へ出ナリ衡門ヲ一ノ内
 ナ云大内ヲ二ノ内ト云馬出ハ衡門ヲ向ニアリ土
 居ヲ築キ堀ヲホル間敷ハ向テ十間左右世間ナリ
 馬出ハ西方ノ横矢右ヲハ順ノ横矢トテ石垣ニ成
 モ共居ニテモ張出シ左ハ逆ノ横矢トテ開テスル

干少升形向扁口ト云横虎口ヲ升形ニ向テ取ル櫓
 臺ノ向ニ門ヲツケテ此ニハ射ヲ出スル櫓ヲ

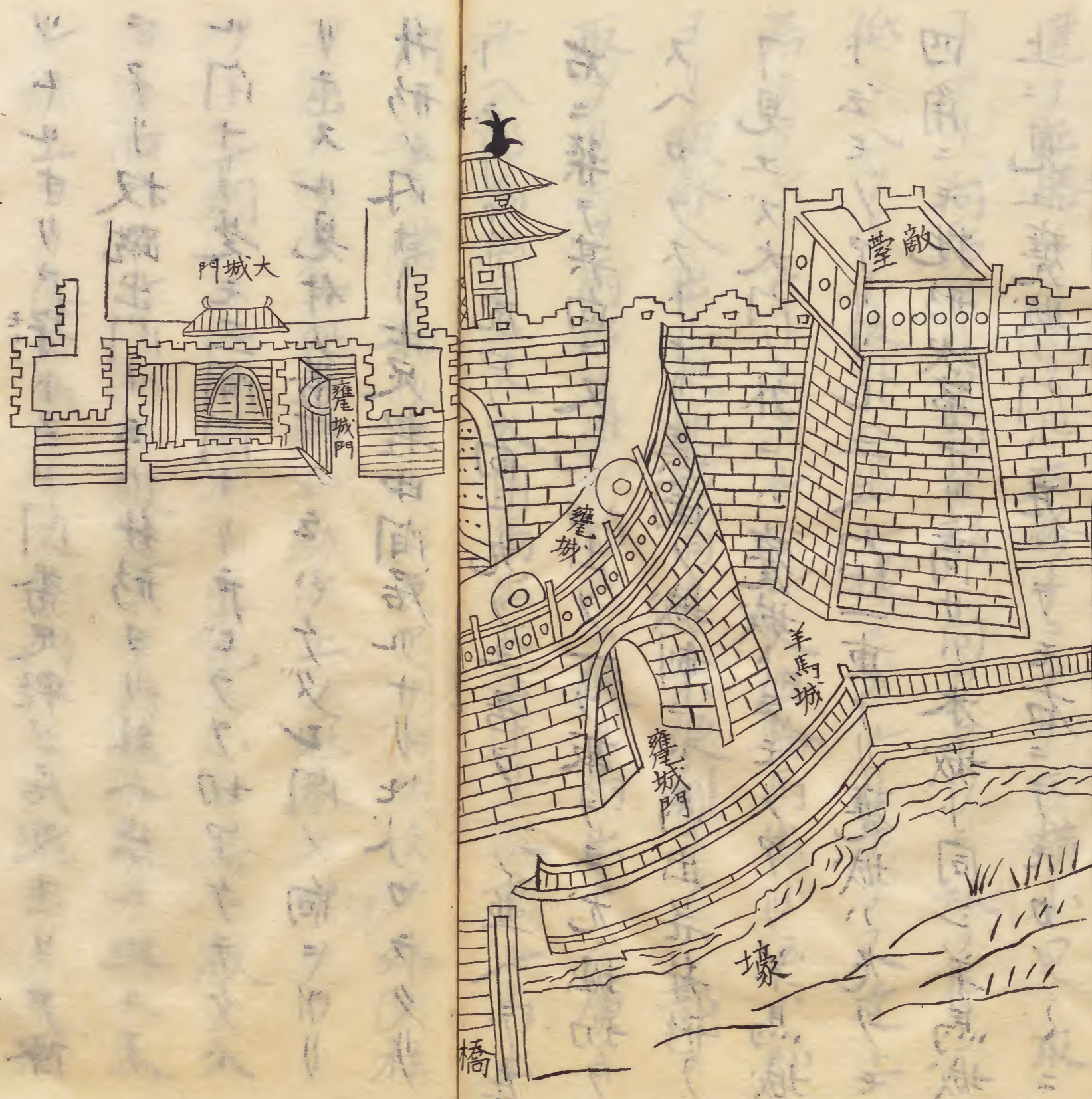


向扁口
 升形
 巴字馬出
 北馬出
 南馬出

山鹿流ニ山城ノ小口ハ敵ニ見エサル様ニ違小口
向虎口ヲ取ヘシ違小口トハ土居ヲ築キ左右へ入
違テ左勝手ニナリト右勝手ニナリト横小口ニ取
テナリ向糸口トハ郭升形ニ向フヤウニ坂ヲ付テ
低ニヘテリテ後外へ出ル様ニスルテナリ又違土
居テテシトムテモアルヘシ又曲輪馬出ト云ハ郭
ヨリ城外へ出ル処地形高クテ不便利ナラハ郭ヲ
取テソレヲ馬出ニ用ユ郭ニハ狭ク馬出ニハ廣キ
子ハ郭馬出ト云又大角馬出ト云ナリ又重北馬出

ト云テアリ虎口ノ向ニ丸ツ土居ヲニツ並ヘテ左
右ニ築テ其向ニ又丸馬出ヲ一ツ取テ云尤堀切ヲ
スヘカラストナリ異国ノ城制ニハ馬出并升形ノ
一見エズ大門ノ外ニハ甕城ト云モノアリ羊馬城
ト云モノアリソレユヘ門ニ重ナリ甕城ハ丸クモ
四角ニモ地形次第ナリ高サハ本城ト同シ羊馬城
上ニ見ユ甕城ノ門ハ左ニテモ右ニテモカタクニ
アクル城ノ大門ニ向フヘカラスト云ヘリ此方ノ
升形ノ心ナリ羊馬城ノ門モカタクニアクル甕城

ノ門ヲ左ニアツレハ羊馬城ノ門ハ右ニアツルナ
 リ甕城ノ上ニ戰棚アリヤグラト同シト云ヘリ



一門ノ仕様謙信流ニ大明ト云ハ升形ノ内ニアル門
 ナリ樓門構ト云ハヤクウ門ニスルコナリリノ時
 塵落ヲ付ル冠木ヨリ外ヘ子ダヲ張出シ常ハ板ニ
 テシト之蓋是ハ門ニ付敵ヲ拂シ為ナリ地伏臺ハ



石ヲ用ユ大内ハ三間内ナリトビラハ七八尺ナリ
付内ト云ハクバシリソノ十尺大内ニハ大戸ビラ
ノ外ニスル馬ノリノ自由ニ出入スルヤウナルヘ
一ニ番所大内ノ内ニアリ合戦ノ時士大将物頭士モ
ツムルナリ戸守ト云ハ門番足輕ノ居処ナリ戸際
ニアリ扱蹴出門ト云ハ升形ヨリ外へ出ル処ニア
ル門ナリ是モ三間門ナリ戸ビラヲ切アケテクハ
リニスル見付ノ番所ト云ハケダシ門ノ向ニアリ
升形ノ内ナリ士足輕中間居ルナリ此外カラクリ

内外ニ常ノ如クニトビラアリ取ビラノ外ハ柱
ヲ出ハリタル処ニ溝ヲ敷ク上ハ冠木ノ中ヲワリ
ヲトキ内ニスル所ニ出丸ノ小口ニ敵ヲ入
ヨキ口ニスルヲナリ破道具ヲ持來ル敵ヲ内へ入
レテ上ヨリ落ス為ナリ又單門ト云ハ蹴出ノナキ
門ヲ云陰ノ郭サカヒニ用エ此條流ニカクシ口ト
云フアリヨキ所ニ口ヲアケ常ハヌリ隱置テ用ノ
時用ルヲ云切戸屏長云ナリ総門ノ扉ハ板アシハ
角木ヲ並タルカヨシ陽ノ虎口ト外へアケ陰ノ小

口内へ開クに子カ子ハ子カ長ニスルヨシ扉
ノ下小人ノ以テ又程トア之置クへ之ノ付敵
ヲ拂為ナリ方ハ三間多キ寸ハアケキ新又用者へ
シカヨチヲ本ニメ申ヲ竹ニ以テコシラへ棒二本
内ヨリツキアケテ開ルヤウニスル云山鹿流
ニ衡内ハスカレ門大門ハヤクヲ開又後内作ナリ
へシ建様ハ升形横矢五間ノ内左ヲ二間ヲ右左
三間ノ内又五間ノ大門ハ城内ノ右取方ナリサレハ
升形登八間ノ内左ニ三間ヲ右ニ有テ右ニ五間
門ヲ立ルナリ大門ハ扉三間ニメ両方ヲ一間ツハ
アリルユハ五間ナリ如右又ツルハ左右順逆ノカ
ツテヨキナリ又透シ内ノ総メ敵ノ付安キ所ニ用
へシ時金ハ扇六坪一ツ柱ニ坪ニツ打テハサムハ
ニ按スルハ升形ハ五八ノカ子諸流通用ナリ異國
ノ法門ノ制度ハ城ノ大門ハ上必樓ニ層アリ樓ノ
カコヒハ板ヲナヤテ通リハルナニ云ヘリ大門ハ壯
麗ニスハニ威ヲ示スヘキ為ナリ呂坤カ実政録ニ
ハ城門ハ洞中ニ安在スベカラスト云テ開クナリ

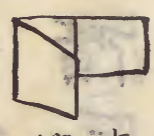
白丸七ノキ。同ノ甲ス。七ノ敵内ニ付テ拂ヘキ様ナキモ
 黒ナリ元ヨリ引込タル内ノ上ニ星池ト云
 日ヲスヘシクナ仕様ノ磚ニテフ子ヲ口ニテハ閣
 一尺際ニ尺ノ上ニ仕カ右ノ槽ト云合
 井ホトノ穴ヲユアケルコレヲ星池ト云ナリ敵
 ヨリ相金焚水ヲ落スナリ矢石ヲモ落スナリ云ハ
 以尤内扇ハ鉄ヲ包ヘシサレモワトナリ火ヲテヤ
 ヲルユヘ右ノ仕カケアキ是ヲ漏槽ト云財利ノ
 階ノ上ニナリ大内ニ至三回ヲテ内ニテ一内ノ上

二重樓臺

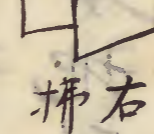
一樓ハヤクヲナリ臺ハヤクヲ臺ノルイナリ謙信流
 二階三階ハ地形次第ナルヘシ着到矢クヲハ大
 キノワキニ三ノ郭際ニアリ四方正面ノ用ニハ
 総ノヤクヲニハ四方正面ハセヌヲナリ四方正面
 ノ仕様ハ  如此入遣ヲシトムヘシトミタル
 方ニ梯子アリ水ヤグラト云コアリ  見セ矢倉
 ト云ハ天主ノナリ八方正面ニスル是モ前ノ如
 ク入遣ヲシトムヘシ數ノ刻トテ柱ニ刻ヲ付テ目

當ニスルウラ楯トテ随分カコヒテ丈夫ニスル日
 ナリ大筒ニテハタマラス又ヨルユヘ絲ダニテ
 木ワタヲ包テ厚五六寸ヤメカベウラハ當レテ人
 ニ當テ仆ルレ氏死スルヲオシト又長ヤベイトハ
 多門ノヲナリ北條流ニハ渡ヤツラト云引窓ヲ仕
 様ニ向手前ヲハテ七左右ノ拂子ヲ

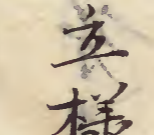
上ヲ
拂子



左
拂子



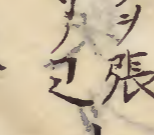
右
柱ノ立様ハ



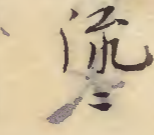
ヤツラヲ張
ギメ取テ



山鹿流ハ



下ヲ
拂子



檜臺ハ古来五間ニ八間ト云入下ノ敷狭キ土上
 二重矢倉ナリニクシ九間ニ七間八間ニ六間ヲキ

ナリスカケノ矢倉入升形又出升形ト云ナリ
 異國ニハヤクヲヲ戦棚ト云敵臺ト云戦棚ト云ハ
 木ニテコシラヘタルナリ敵臺ト云ハヤクヲ臺ト
 如ク石或磚ニテタ、ミアケタルナリ圖上ハアリ
 城ノ角ニアルヲ敵團ト云上ニ露屋トテヤ子ヲモ
 スル或ハヤ子ナニモスルマワリニ儒檀トテ毛
 檀ヲヌラメカケ或ハ垂鐘板ヲカクル垂鐘板ノ守
 法ノ卷ニ出ス一子ノ頭ノ居処ナリコ、ニ鼓旗ヲ
 オキ子弩鳥銃榴木等ノ様々ノ守具ヲ置リ大白陰

経ハハ弩臺ハ百歩ニ一ツト云下ノ閣四丈止
閣二丈高サ城身ト同シト云武経總要ニハ長三歩
一面ノ廣サ一丈六尺ト云呂坤實政録ニハ敵臺ハ
四方三丈一面ニ堞口六ツハ七十歩ニ一ツハ敵臺
ヲ立ルト云郭子章カ城書ニハ城身ヨリ外へ出ル
ト一丈五尺横ハ一丈二尺下廣上狭ト云ハ上ニ
ナリテハ外へ一丈一二尺ナリ出横八九尺アルナ
リ城身ノ高サ二丈アラハ城身ヨリ三四尺モ高ク
スヘシ城身ノ高サ二丈マテナクハ五六尺高ク
スヘシ左右両面ニ三堞口ヲ閣サ一尺四寸ツハニ
アケテ石ヲコロハス牆ノ中ホトニハ方圓トニハ
寸ノ穴ヲアケテ佛狼機ヲ打ツ正面ノ牆ハ左右ノ
牆ヨリハ二尺ホト高クメ堞口ヲ開カズ人ヲ頭ノ
スリハラヒ方圓トニ六寸ノ穴ヲ四アリヘシ上ニ
尾屋ヲフキ簷ハ牆ヨリ外へ二尺ホト出スヘシ臺
ト臺トノ間ハ或ハ二三百歩或ハ百餘歩或ハ七八
十歩城ノ屈曲ニ隨テ定マルカ子ナシ総ノ敵臺ニ
實心虚心ト云トアリ實心ト云ハヤクテ臺ノ如ク

磚石ニテツキ立リトシキニ梯子ヲシテ上ルナリ
虚心臺ト云ハ三面ヲ磚石ニテ切立テ中ヲ空ニメ
板ニテ二段ニシテ梯子ニテ内ヲ上ル北ニテ石ニテ
石ニヤサツ鉄炮ガマツ切ナリ城門ノ上ハ樓ナリ
尹珩カ堡約ハ敵臺ハ矢道ノヨクカトルヤウニ
スヘシ向テ遠サ五十歩ヲ過ヘカラス上ハ四方ニ
丈目測小ツスヘカラス垣ヨリニ丈高クスヘシト
云ヘリ

内ニ牆ニテ...

一謙信流ニ山城ノ屏ハ二段ナリ高キ処ハ高サ五尺
是ハ風ハアテ又様ニヒキクスルナリ人長ハカサ
ニハ地形高キニハ見込ニカヘワズ中ハ処ハ七尺
下ニ処ハ八尺ナリ屏ニ石ナリ仕カケアリ
如此塵落不始ニスルナリ又雪フラス土ノヨキ処
築地ニ用ニ要害不堅固ナル処ハ長屋屏タルヘシ
北國ナドノヤウナリ築地ノナラヌ処ハ二重屏ナ
リコトナラニ重ニシサマ七箱狭間ナリ中ハクガ

石ヲドロニマセテ込ムドロニマセテ子ハ一処打抜
ト石コホル、ナリ狭間ノ切様ハ弓ニテモ鉄炮ニ
テモ打子ノ膝ヲ下ニ付テ肩通り又中墨トス弓ハ
堅一尺二寸横四五寸鉄炮ノ丸ニテモ三角ニテモ
徑五六寸ウラスニ尺セリヲ取ル鉄炮ニ弓一ノ積
ニ切ズヘシ又出角ニ弓サマヲ切也遠矢キカ又
故ナリ北條流ニ外ヨリ内ヲ見セヌ為ニスルヲ蒂^{カサシ}
一輪屏ト云内窓ヌ長ヲ葎ノ屏ト云柱ハ立様六尺ノ
内ニ柱三本ナリ柱間遠寸ハ柱ヲ打破ラレテ折ル

ルナリ平城ハ高六尺五寸山城ハ五尺五寸覆ハ棟
木ニチノ掛ラヌヤウニスヘシ貫ハ上ニ二通り土
ノ下ニモ二通ヌクヘシ屏ト武者走トノ間二間犬
走ノ間二尺ナルヘシ覆ノ仕様ハ籠城ノ時ハ覆ヲ
棟共取取エハトラル、様ニ輕ク仕置ヘシ軒ノ長
ハアレ、尤内ハ短クスヘシ壁下地ハ柱ヲ塗カリ
レコヘイヲ内外ニ二重ニカクナリ横竹ニハ間ニ
木ヲマズヘシ立竹ハ先ヲ切ツダヘシ太鼓屏ニメ
栗石ヲ入ル、トアレ、トナリ大竹筒サマト云ハ

大竹ヲ長七八寸ホドニ切テ屏へ指込内へハ竹一
寸ホド見ユル様ニスル是ヲ所々ニスへシ屏ヲノ
ル敵ヲ突落ニモ又狭間ニ用レテ鉄炮中テ穴アリキ
タルヤウニ見エテ敵ヨリハサマト見エヌナリ又
石打棚ト云ハヒカへ貫ノ上ニ板ヲ敷テ棚ニスル
ナリ板へ人上リテ屏ノ棟ノ上ヨリ上半身見ユ
ルホトニスルナリ敵屏ヲノル寸是ニ登テ防爲ナ
リ山鹿流ニ山城ノ屏ノ高五尺五寸ト云又屏ノ扣
ニ三色アリ一色ハ横ニスル板ヲ渡テ敵ヲ防キ石
ヲ上ル棚ニモス一色ハスチカヘニスハ益ナレ
往来ノ邪魔ニナル令一色ハ低クサゲテ横木ヲ屏
柱ニ割入レ其本ヲ地ノ下へ埋ム是ハ敵ノフマヘ
ニナラヌ徳アリト云又山城子城共ニ城廻ノ屏ハ
粗相ニスヘカラス間六尺カ四尺ニ角柱ノフトキ
ヲ深三尺モ四尺モ掘込テ屏柱ニスヘシ屏下地ハ
堅竹ヲ細ニ横竹ニ念ヲ入ヘシ屏覆ハ浅スヘシ粗
相ナルヲヨレトス取手付城境目之城ナトニハ猶
更コモヲ巻テ覆ニスヘシ又屏裡ハ土ヲ掘カケテ

埋タルが大筒ヲヨリル徳アリ又一二三段ト云フ
ハ本丸ノ屏ヨリ二ノ丸ハ七ノ丸ヨリ三ノ丸ハ
卑クス山城ノ一ナリ平城モ其心持アルヘシ二重
屏ノ内ニ砂ヲ入ル一ノ大忌ム但シ人長ヨリ上
一重屏ニテ不苦又屏下ノ土居ノ急ナル処ニハ犬
走ヲトラズ屏ヲカクヘシ敵ヲ拂フニ益アリ又鈎
屏ノ一又カサナル屏ト云フアリ山城ハ一二三段
ニ屏ヲカクルユヘソレニ不及平城ハ一二三段ニ
カケ難キ故常ノ如ニ屏ヲカケ屏ノヒカヘテ口ク
ニメ其上ヘ又屏ヲカケテ相ノ上ニ板ヲワタシ足
輕ヲ置ヘシ矢狭間ハ上下ノ屏共ニ切ヘシ又出シ
屏共ニハ土居石垣ナリノ犬走ヨリ外ヘ五寸ホト
屏ヲ出ノカクルノナリ敵ヲ拂フ便ニ用ユロク
明レハ忍ノ付矢アリ其時ハ戸ニテフタヲスルナ
リ又石垣ナク土居ハカリノ処ナラハ土臺木ヲ列
ヘシ又横矢ノ不入処ニハ狭窓ヲハリ出ノ隔子ニ
スルノアリ見切ヲ為ナリ又屏折ト云フアリ元來
土居ニ横矢ナキ処ニ屏ハカリニテ横矢ヲカタル

埋タルが大筒ヲヨリル徳アリ又一二三段ト云フ
ハ本丸ノ屏ヨリ二ノ丸ハ七ノ丸ヨリ三ノ丸ハ
卑クス山城ノ一ナリ平城モ其心持アルヘシ二重
屏ノ内ニ砂ヲ入ル一ノ大忌ム但シ人長ヨリ上
一重屏ニテ不苦又屏下ノ土居ノ急ナル処ニハ犬
走ヲトラズ屏ヲカクヘシ敵ヲ拂フニ益アリ又鈎
屏ノ一又カサナル屏ト云フアリ山城ハ一二三段
ニ屏ヲカクルユヘソレニ不及平城ハ一二三段ニ
カケ難キ故常ノ如ニ屏ヲカケ屏ノヒカヘテ口ク
ニメ其上ヘ又屏ヲカケテ相ノ上ニ板ヲワタシ足
輕ヲ置ヘシ矢狭間ハ上下ノ屏共ニ切ヘシ又出シ
屏共ニハ土居石垣ナリノ犬走ヨリ外ヘ五寸ホト
屏ヲ出ノカクルノナリ敵ヲ拂フ便ニ用ユロク
明レハ忍ノ付矢アリ其時ハ戸ニテフタヲスルナ
リ又石垣ナク土居ハカリノ処ナラハ土臺木ヲ列
ヘシ又横矢ノ不入処ニハ狭窓ヲハリ出ノ隔子ニ
スルノアリ見切ヲ為ナリ又屏折ト云フアリ元來
土居ニ横矢ナキ処ニ屏ハカリニテ横矢ヲカタル

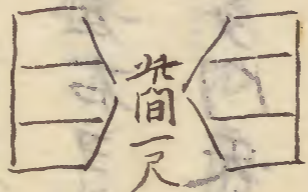
又云半間ハカリワ、ニ処トスヘシ又内折外折
 ト云フアリ外へ折レハ内ノ墨多キニ味方折下
 云内へ折レハ内ノ墨ナリ味方ニ徳ナキニ敵折
 ト云敵折モ時ニヨリテハスルナリ又屏折ニモ
 角落シ屏風折アルヘシ屏風折ハ一間ホトツニ
 折ヘシ狭間ノ切ヤウハ屏ノ扣ノ下ニ切ヘカラス
 矢狭間ハサケテハ切ヒアテテ切ヘカラス又鉄
 炮サヤハ地ニ居タル長ケニ乳ノ止ハ寸ヌカ子
 トス又鉄炮狭間ニハ土俵ヲ認テサヤノ左リ方ニ
 立ルナリ足輕是ヲ楯ニ用テノソキテ鉄炮ヲ打テ
 敵ヨリサマシ閉ルヲアリヒ地者ニアタラヌナリ
 又石狭間トテ堀ノ土臺木ノ下ニ石ヲスエ其石ニ
 サマシ切石ノ内ノ方ヲ切拂テ鉄炮ヲ居クナリ土
 俵ヲ用ルニ不及又二重堀ノ時内ノ屏ヲ角ヲ八文
 字ニスルト外ハ屏ヲ角ヲ八文字ニスルトアリ是
 内ハ文字外ハ文字ト云是ニ非レハ左右順逆ノ横
 矢イラレサルナリ又二重サヤトハ重ナル屏ニ用
 ニ又隠狭間ト云フアリ右大竹筒サヤノ類ノナ

ナリ又堅柱アル中門ハ狭間ヲ不切左右ノ見切
ナリ難キ故ナリ又矢狭間ニ屏下地ノ横竹ヲ殘入
カラス敵以テ入トスルナリ又鉄炮亦六外
方ハ左ヲトリ内ノ方ハ右ヲ止ルハ左ニ差出
打ノ便アルカ故ナリ又サハ高低サマクアルハ
シ又一間ニ一ツナルハシアリ繁キハアリキ
ナリ急ナル角ハサハ外ハ文字ヲ用テ又折ルサ
ハ切様アリケレハ外ヨリ内ヨク見ユルモノナ
リ打入リ身隠アルホトニスヘシ矢狭間ハ大形耶

ニ切ハ横矢順逆長ニカ、ルナリ鉄炮サハハ鱗
形ヨシ左右ヨク見立横矢モヨシ九ハコノマナ
ナリ又多門矢倉ノサハハ少アケテ切ヘシト異國
ノ法ニハ城ハカリニテ屏ヲカクルト云ハナキナ
リ城身ノ上ニ塚頭塚口ト云モノアリ是ヲ睥睨
云ナリ威南塘カ説ニ塚ノ高六尺塚口ノ廣一尺塚
ノ廣七尺五寸塚頭塚口合テ八尺故ニ八丈ニ十塚
八十丈ニ百塚ナリ五十塚ニ一雉アリ雉ト云ハ折
込セウナルモノナリ其形方ニ城身ヨリ外へ出ス

或三丈モ出シ二丈モ出シ一丈五尺モ出ス三丈ハ
 リ出ヌ寸ハ横五丈二丈ハリ出ヌ寸ハ横三丈一丈ハ
 リ出ヌ寸ハ横一丈五尺ナリ雉ノ高サハ城身三丈
 ナレハ三尺二丈ナレハ二尺ナリ雉ノ内ニモ塚ア
 リ矢炮ヲ放スハ塚口ナリ遠処ヲ見ルニハ塚頭ナ
 リ城際ハ双キタルヲ見ルハ懸眼ナリ

塚口ノ磚

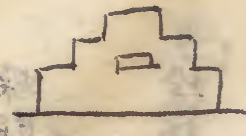


井ノ口

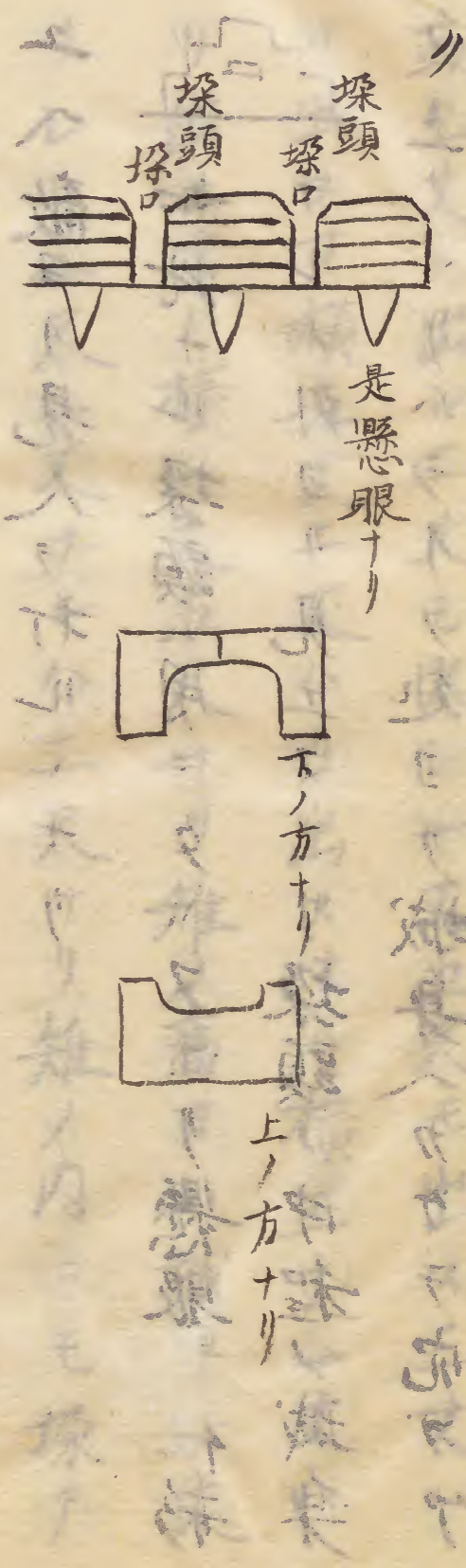
如此スレハ左右頭逆ノ横矢共
 ルナリ最初ヨリ如此模ヲコレヲ

ハテ焼スルナリ磚ノ形横ハ長廿ノ半分厚ニハ横

ノ半分堅横六面ニナリテ磚ト磚トノワキ合セメ
 ハ四方ニナルヤウニスルヲナリ塚ノ高サ六尺ナ
 レハ磚ヲカサ子タル寸ハ六尺ニナルヤウニスル
 ナリ又懸眼ト云ハ城下ヲ見ル狭間ノ仕様ナリ狭
 間ヲ横キニアタル寸ハ城外ヨリ明ラカニ見ユル
 ニハ敵ヨリ見人ヲ打ル、ナリ

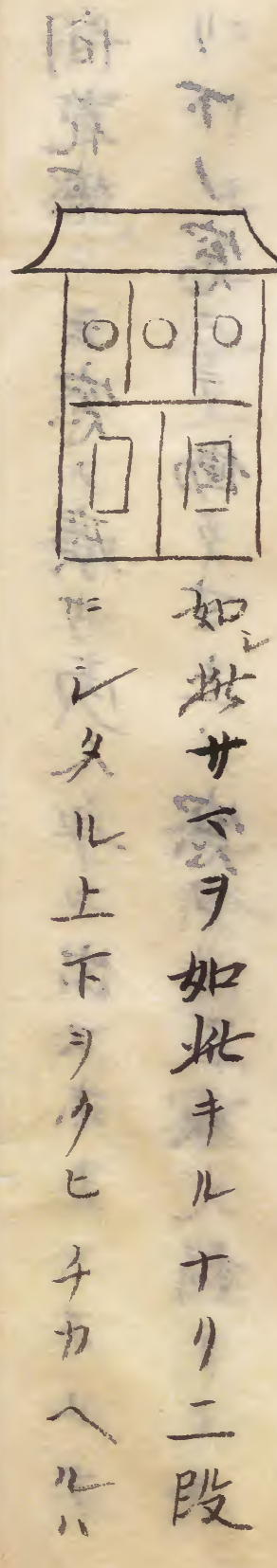


如此ナル塚頭ハ用ニタ、又ナリ懸眼ノ仕形
 ナレハ外ヨリ見ユヌナリ塚頭ノ中程ノ城身
 以上ノスリハライノ処ヨリ城身ヘカケテ穴ヲア



ル高九寸ナリ九寸ノ磚三枚ナクカレ其堞頭
ハ城身ヨリナリソノキタル心ニナリ城身ノスル
ハライノ処ヨリ下ハ磚二枚ヲ左右ヨリ合セ止
ムカハ一枚ツクナリ是モ磚ヲ兼テ此形ニナカセ
テキニニ番ノ番付テ仕置タルヲ合スルナリ懸眼

ソロニハホソ蓋スヘシ板敵臺ハ敵臺トノ間ニ
馬ニノリテ通ルヤウニ閣道ヲ付ル此方ノ武者走
ノ心ナリ雉ノ上ニ騎城舗ト云モソアリ大城ノ舗
ハ三楹ト云ニ間奥入一丈六尺小城ナレハ一楹ニ
深ニ丈三尺騎城舗ト云ハ雉ノ出ハナヨリ少列
コトセテ閣道ノ上ニテカハリ横ニロヲアケル騎
馬ノ通ルニナリ其形



間花窓ニ云窓ノ廣サ兩人身ヲ出スホトニスルナ
 リ下ノ窓ニテ働ク寸上ノ窓ヨリ石或火桶ナ上ニ
 落スニ邪魔ニナラヌ為ニ間花ニスルナナリ雉ハ
 五十塚ニ南ノ上ナリシレニテ防キソ甲斐ナキ
 アラハ二十五塚ニ一小舗ヲ作ルニ云ハリ総
 ノ異國ノ籠城ノ形城中ニ方々見ケトル將校ハ
 敵臺ノ上ニ在テ敵味方四方ヲ見ハラシ旗鼓ヲ以
 テ相圖クニ下知ノ為ニ閣道ヲ付テ下知ス又下
 ノ小頭ハ右ノ騎城舗ニ及テ下知スルナリ敵ヲ
 防クナリノ便利ナル為ニ如北ノ法制ナリ日本ノ軍
 法ハ多クハ足輕ハカサニ狭間ヲ守ラセ武者モ物
 頭侍大将モ下ニ居テ下知スルト云是城制ノ不同
 ナルニハシナリ又羊馬城ノ圖上ニ見ユ又ハ牛馬
 牆ニ云異國ノ法ハ城身ト壕トノ間一丈カ八尺歟
 アケテ壕ニツケテ墻ヲスルナリ墻トハ築地ノ
 ナリ但レ日本ノ築地ノ如クニ非ス磚ニテモ石
 ニテモ三合土ニテモスル地際城ノ雉ヲ通リ大
 將軍鏡ノサマヲ切ル人ノハヒユレ又ホドニテ

へレソレヨリ三尺上通りニ五尺間ヲ末ニ佛狼機
ノサハヨ切ルコノサハ上ニケンタウノ穴横ニ
寸堅ニ寸ニ明ニ染レヨリ又三尺上ニ三寸筒ノ
サマヲ切ルコレニモ三寸ノケンタウアリ牆ノ上
ニ斧刃磚石トテシタキヲ立タル磚石ヲ用テ敵升
テモフニツケアレキ為ナリ此羊馬城ノ城上ノ矢
砲ハタタニオキモノニハ城遠ハハ未だ城近ニ
ハキカヌモムナルユハ此羊馬城ヲ設タルナリ
天草陣ノ物語ヲ聞クニ城近クホレハ鉄炮ナレト

云サモアルヘレ呂坤カ實政録ニハ塚口ノキワニ
天井ト名付テサレワタレ一尺ノ井ヲホルスナカ
ハニホルナルベレ下ノ方ハ二尺ニ二尺五寸ニ方
ニスル是ヨリ城下ヲ見ヲロレ石ヲオトシ種々ノ
ワサヲスルナリ敵城ヘノリテモ働自由ナラス此
方ヨリハ戸ヲ以テ蓋ヲシ置ヘレ塚頭ニハ鼓腔琉
璃磚ノ厚一尺ナルヲ用ユ鈎杆スヘリテカ、ラズ
トナリ鼓腔ハ丸カワラノナリ琉璃ハ青瓷ヤキ
ノナリ郭子章城書ニハ塚口ハ一尺四寸ナルハ

シニモスト云山鹿流ニ長橋トテ五十間モ三十六間
 用アル橋ヲ用ルヲアリ是ハ橋入左右横矢宜シク
 或ハ両袖ノ升形ナト有テ敵速ニ渡カヌル処ニ用
 又筋達橋ト云ハ左右ニ横矢ナキ処ニ入ルカヘ
 三ノ横矢ヲ取ナリ異國ニハ機橋吊橋ト云フアリ
 機橋ト云フナリ敵ヲ討テ置ルニ用

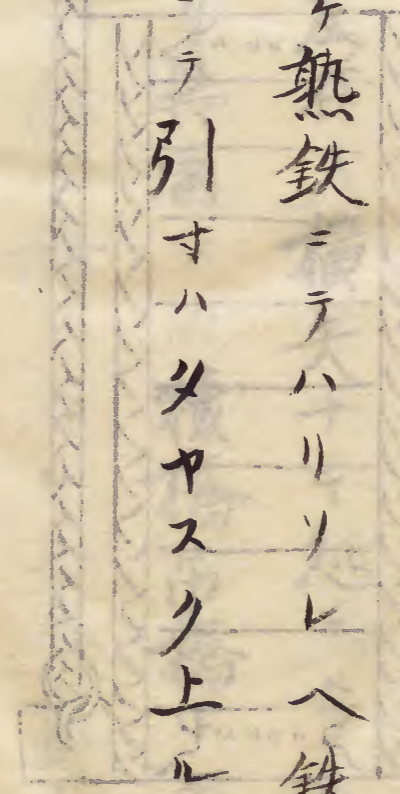


一 梁ヲ用エ桁一本ノヲナリ仍テ轉軸ヲナシ両端
 ニ横括ヲ施メカクルナリ敵来レハ括ヲ去ルナリ
 人馬是ヲ踐ト橋カヘルナリ

釣橋



釣橋ハ槐榆木ニテ作ル上ニ鉄環ヲ施シニ鉄索
 ヲ貫キ麻繩ヲソヘ城樓ニ結付ルナリ投橋ノアト
 城ヨリ三歩ホトニ二柱ヲ立ツ長二丈五尺ホトナ
 リ上ニ山口ヲ付ケ熟鉄ニテハリソレヘ鉄索麻繩
 ヲカケ置キ樓上ニテ引寸ハタヤスク上ルヤウニ
 スルナリ



入道ノ...

一 築ノ用ニ...

二 鐵...

三 鐵...

雜制

二 謙信流武者返シノ柵ト云ハ橋キワニ石ニ云モヤ

ライニテモ人ノ腰切ニスルヲ云ナリ



如此一代柵トハイケカキノナリ人ノ
 常ニ往來セヌハ子バシノワキ又カラホ

リノ内ニモスルナリ

一 又城近辺ニ山アヒ繩張ハ郭幅ヲ小フメニ取テ城

林ニテ内ヲシトスナリ見透サレヌ為ナリ又山ツ

ニキナル処ニ山ノ出鼻左右切岸ガルニ取出ヲ構

ルニハ手本ニ大矢倉ヲ上ル寸ハ掘モ石垣入又
ナリ又麓ノ水ヲ取ニ扇子繩ト云フアリ
土居ニホヲウエル
ツツテアリ
水矢倉ヲ警固ノ為ニ作ルトモアリ

一山城ノ郭續ハ浅間ナルモナリ上ニ曲輪ヲ取テ
家ヲ作り次第道ヲ断ルホトト郭ヲ取又其下ニ家ヲ
作り郭ヲ取テハカサニ矢ノ心ニナリ堅固ナリ

二山城ノ葛折ト一ノ上ノ段ト一ノ下ノ段ト右ニ下
ワヘ

一北條流然ノ升形櫓土居屏屋敷植物郭等ニモ皆蔀
幕ノ心得アルヘシ陰陽ノ繩不足メ見エスク処々

ニハ相應ニ何ニテモカサシレトニ取ルトナリ
又山鹿流ニ高山アリテ城中見透ヲレトニ様ノ秘
傳ト云フアリ高山ノキワヘヒシトワケテ城ヲ取
テヲ云ナリ

一山鹿流山城ノ水ノ手ニ扇ノ繩要ノ矢倉ハ

城



此ニ要ヤクナリ

如此又水郭ト云ハ又右ノ如ノ繩取

カタキ寸ハ水郭ト云フアリ二三ノ

ヨリ聚ル商人ナリ是ニ由テ合戦ノ寸ハ用ニ
夕、大害アリ只武士ノ朝夕以用ヲ足メモラフ
役人ト心得ルヨリ起ルナリ異國ノ法ハ城下ノ
町ヲ小詰ニメ外ニ總部ノ圍アリ郭門アリ此要
害ヲ堅固ニス城下ニ住スル人ハ足輕農人
ナルヘレテ籍ヲ極テ他処ノ人ヲ留メス商ニ來
ルモノヲモ月教ヲ限テ返ス所ニ留マルヲ得
ズ又我城下ノ民ノ他所ヘユクモ心儘ニ行テ
異ヲス各其町ニ頭ヲ付テ吟味嚴密ナルヤウニ

治世ヨリ仕置クナリ如此ナルニハ城下ノ民
ヲ一ツニメ城ヲ守ルテ異國ノ法ナリ近來和國ニ
テ籠城多クハ叶カクキテ畢竟ノ処士土著セス戸
籍ノ法棄レタル故ト知ルヘシ且又當時一國一城
ト云フニナリテ本城ニ輔キキエハ籠城叶難キナ
リ家中ノ侍ヲ土着セシメ大身者ノ知行所ヲヨキ
ワベリクニ配リ屋敷構ニ心得ヲシ或ハ大寺大社
ヲ皆急ナル寸ノ取出ニ心得下知ヲ加ヘバ是又國
主ノ心得ニテ不意ノ亂送ニ備アルニ如類ノナリ

ヲハ忘却ノ砂形繪圖ニ心ヲ尽メ城取ヲ傳授シ奥
議ヲ究タリト云レハ愚ノ至ナルヘシ



[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '城取' and '傳授']

